

2024年度 中部支部通常総会

2024年6月6日(木)

- 通常総会：15:00～16:00
- 講演会：16:10～17:30
- 会員パーティ：17:45～19:15

- 開会の辞
- 支部長挨拶
- 新支部長挨拶
- 来賓挨拶
- 議長選出
- 議案*
- 支部事業活動 功労者・功労団体の表彰
- フェロー称号の授与
- 閉会の辞

*議案

1. 2023年度 支部事業報告
2. 2023年度 支部会計決算報告
3. 2023年度 支部事業および会計監査報告
4. 2024・2025年度 支部役員
5. 2024年度 支部方針および事業計画
6. 2024年度 支部予算

1. 2023年度 支部事業報告
2. 2023年度 支部会計決算報告
3. 2023年度 支部事業および会計監査報告
4. 2024・2025年度 支部役員
5. 2024年度 支部方針および事業計画
6. 2024年度 支部予算

1. 概要

- (1) 事業全容
- (2) 会員状況
- (3) 役員会
- (4) 支部業務

資料（巻末に掲載）

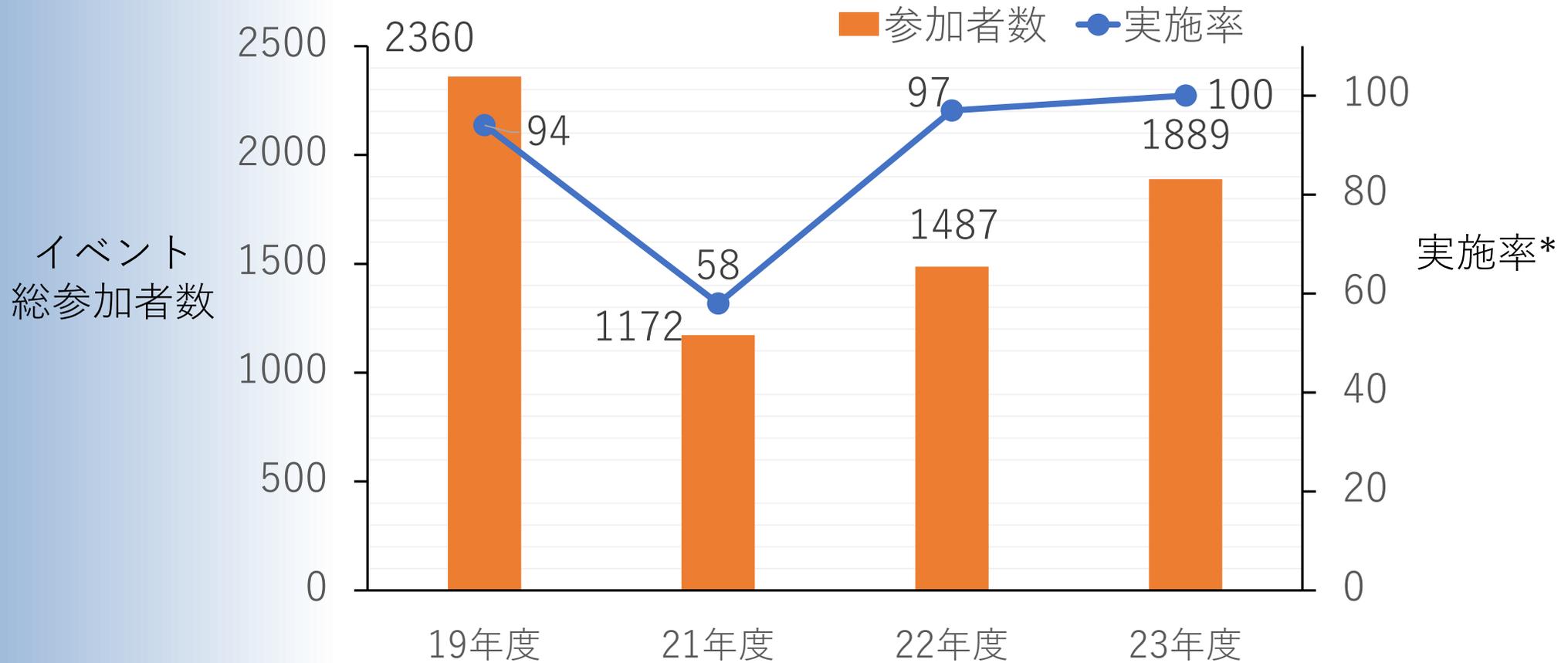
別紙1(P65) 会員状況報告

別紙2(P68) 2023年度 中部支部事業実績

2. 支部事業総括

- (1) 見学会
- (2) 技術講習会
- (3) 技術交流会
- (4) 体験型講習会
- (5) 総会講演会
- (6) 技術者懇談会
- (7) 支部報
- (8) 学生自動車研究会
- (9) 社会貢献
- (10) 新技術領域への取組
- (11) ワーキング（人テク）研究発表会，講演会
- (12) 協賛ほか

イベント実施率と総参加者数



- ・ コロナ禍後、イベント実施率は100%に回復
- ・ 総参加者数は21年度以降、階段状に増加しており、順調に回復

* 実施率 = 実開催数 / 予定回数

議案1-1. 概要 (2) 会員状況

区分 (支部)		'23.3.1 現在	'24.3.1 現在	前年度末比増減	占有率(%)
正 会 員	北海道	178	198	20	0.5
	東 北	323	335	12	0.8
	関 東	16,974	16,954	▲ 20	38.8
	中 部	20,686	19,806	▲ 880	45.3
	関 西	5,596	5,527	▲ 69	12.6
	九 州	724	726	2	1.7
学 生 会 員	北海道	83	112	29	4.1
	東 北	162	158	▲ 4	5.7
	関 東	1,101	1,211	110	43.8
	中 部	447	514	67	18.6
	関 西	524	549	25	19.9
	九 州	179	172	▲ 7	6.2
支 部 会 員 *	北海道	262	310	48	0.7
	東 北	485	493	8	1.1
	関 東	18,107	18,194	87	39.1
	中 部	21,142	20,330	▲ 812	43.7
	関 西	6,124	6,080	▲ 44	13.1
	九 州	905	900	▲ 5	1.9
総 計		47,229	46,520	▲ 709	100.0

* その他会員を含む合計

中部支部は、占有率が最大、
減少数も最大。
他支部への転籍も含まれる。

正しい理解のため、
転入・転出を含めた表記法を
2024年度から採用。

議案1-1. 概要 (3) 役員会

行 事		出 席 対 象	開 催 日	開催方法	参加者数
役員会	✓ 春季合同役員会	支部長、担当理事、常任幹事、幹事、監査役	5月12日(金)	オンライン	65
	✓ 夏季合同役員会 + 講演会	支部長、顧問、理事、担当理事、常任幹事、幹事、 さんぼう会、監査役	8月25日(金)	オンライン	89
	✓ 秋季合同役員会	支部長、担当理事、常任幹事、監査役	11月27日(月)	オンライン	52
	✓ 新年合同役員会 + 新年祝賀パーティー	支部長、顧問、理事、担当理事、常任幹事、幹事、 さんぼう会、監査役、賛助会員	2024年 1月19日(金)	対面	81
	担当幹事会 (年4回)	担当幹事 (常任幹事、幹事の各一部)	✓6月27日(火) ✓9月12日(火) ✓11月2日(木) ✓ 2024年 2月 6日(火)	対面 + オンライン	23 21 28 28
✓ 支部通常総会 + 講演会、会員パーティー	支部長、顧問、理事、担当理事、常任幹事、幹事 さんぼう会、監査役、正会員、学生会員	6月19日(月)	対面		97

議案1-1. 概要 (4)支部業務 1 -2022~2023年度振り返り-



コロナ禍以降の社会変化、デジタル化の浸透などにもとまらぬ、支部の運営や業務の改善に取り組んだ。

テーマ	課題/方針	活動/対象	成果
運営合理化のための デジタル化導入	事務局へのO365の導入	イベント参加申込み方法	FormsとPower-Automateを活用した登録
		会議案内（合同役員会等）	郵送→電子メール化
	SNS活用	情報告知	LINE活用：本部と合意 →中断
	Web会合の自前化	Zoom操作習得	100%自前開催 （各合同役員会、23年度夏季講演会）
	イベントのWeb化	技術交流会 技術者懇談会	2022年度採用 →コロナ5類で実開催へ
未整備の支部 ガイドライン	案件を作成・修正	コロナ5類対応	イベント起点の感染なし
		イベント事故対応と日常活動	学生イベントの安全意識向上
参加率		(次頁記載)	
会員数			
外部連携 (他支部/他団体)	会員の視野拡大 異分野融合	他支部（関西・関東・東北支部）	見学会共催（関西）、キッズ支援（東北）等
		愛知県産業振興課	展示会/講演を支援、情報発信活用
		交通心理学会	23年度夏季講演、学会後援

議案1-1. 概要 (4)支部業務 2 -2022~2023年度振り返り-

テーマ	課題	活動/対象	成果と今後
参加率	コロナ禍回復期の企画 -参加を出控える中で、 いかに行事を回すか-	見学会：募集数の適正化	募集数と応募者数がおおよそバランス 受入企業の負担軽減 →5類移行にともなう、応募者増への対応
		同：キャンペーン入会者向け特典	期待ほど利用されず →認知向上、対象拡大
		技術講習会・支部講演会： オンライン講演（リアルタイム） オンデマンド配信（後日）	参加者数増加、他支部から聴講 →継続活用
		同：他イベントへの便乗企画 （技術講習会#5）	募集枠に対し 応募者数は少数 →テーマ、他イベントの適正を要検討
会員への告知 -メルマガ不認知-	魅力を感じさせるメールとHP 先出し予告（3-4ヶ月先まで）	定員超過する 応募 、臨時メルマガ発信削減 →（24年度 検証）	
会員数	本部キャンペーン 28歳以下勧誘	支部各社の活動共有	一定数の 効果あり 。 退会者数を埋めるには 至らず →各社特性に応じた活動
		某関東企業活動を支部内共有	
	中部支部活動	会員募集ポスター作成と各社展開	各社勧誘のツールに活用
		愛知県展示会にて勧誘チラシ配布	関心示されたが、 入会には至らず
	[参考] 異動（転入・転出）状況を明示	支部間異動を正しく理解 →継続	

参加率：支部活動の魅力発信と認知向上を継続（メルマガ・HP改善）

会員数：今後も、各社特性に応じた、継続的勧誘をお願いします

議案1-2. 支部事業総括



- (1) 見学会
- (2) 技術講習会
- (3) 技術交流会
- (4) 体験型講習会
- (5) 講演会（総会・本部秋季大会）
- (6) 技術者懇談会
- (7) 支部報
- (8) 学生自動車研究会
- (9) 社会貢献
- (10) 新技術領域への取組
- (11) ワーキング（人テク）講演会・研究発表会
- (12) 協賛ほか

2023年度実績一覧
別紙2(P68)を参照

月	支部委員会 (本部事業)	支部委員会 グループ事務局主催会議	見学会	研究発表会・講演会 技術講習会 技術発表会	技術交流会 技術者懇談会	社会貢献	学生自動車研究会 学生フォーミュラ	出席
4月			14日(金) No.1 東海大学 【79分】	21日(金) No.1 東海大学 【79分】		23日(日) No.1 東海大学 【79分】	15日(土) No.1 東海大学 【79分】	3日 2023年発行、HP更新
5月	12日(金) 13日(土) 14日(日) No.5 東海大学 【79分】		18日(金) No.2 東海大学 【79分】	28日(日) No.2 東海大学 【79分】		28日(日) No.2 東海大学 【79分】	20日(土) No.2 東海大学 【79分】	8日 2023年発行、HP更新
6月	19日(月) No.6 東海大学 【79分】		27日(水) No.5 東海大学 【79分】	23日(金) No.3 東海大学 【79分】		18日(日) No.3 東海大学 【79分】	10日(土) No.3 東海大学 【79分】	21日 2023年発行、HP更新
7月	5日(水) 7日(金) No.7 東海大学 【79分】		18日(金) No.4 東海大学 【79分】	21日(日) No.4 東海大学 【79分】		22日(土) No.4 東海大学 【79分】	18日(日) No.4 東海大学 【79分】	3日 2023年発行、HP更新
8月	4日(水) 5日(木) 6日(金) No.8 東海大学 【79分】		4日(水) No.5 東海大学 【79分】	4日(水) No.5 東海大学 【79分】		4日(水) 5日(木) 6日(金) No.5 東海大学 【79分】	27日(日) No.5 東海大学 【79分】	1日 2023年発行、HP更新
9月	12日(水) 13日(木) 14日(金) No.9 東海大学 【79分】		18日(月) 19日(火) 20日(水) No.10 東海大学 【79分】	18日(月) 19日(火) 20日(水) No.10 東海大学 【79分】		18日(月) 19日(火) 20日(水) No.10 東海大学 【79分】	30日(土) No.10 東海大学 【79分】	1日 2023年発行、HP更新
10月	11日(水) 12日(木) 13日(金) No.11 東海大学 【79分】		19日(木) No.6 東海大学 【79分】	19日(木) No.6 東海大学 【79分】		19日(木) 20日(金) 21日(土) No.6 東海大学 【79分】	7日(土) No.6 東海大学 【79分】	2日 2023年発行、HP更新
11月	27日(月) No.12 東海大学 【79分】		10日(金) No.8 東海大学 【79分】	8日(水) No.8 東海大学 【79分】		14日(土) No.8 東海大学 【79分】	19日(日) No.8 東海大学 【79分】	1日 2023年発行、HP更新
12月	19日(金) No.13 東海大学 【79分】		10日(金) No.9 東海大学 【79分】	10日(金) No.9 東海大学 【79分】		10日(金) 11日(土) 12日(日) No.9 東海大学 【79分】	9日(土) No.9 東海大学 【79分】	1日 2023年発行、HP更新
1月	19日(金) No.14 東海大学 【79分】		12日(日) No.11 東海大学 【79分】	12日(日) No.11 東海大学 【79分】		14日(日) No.11 東海大学 【79分】	14日(日) No.11 東海大学 【79分】	9日 2023年発行、HP更新
2月	6日(水) 7日(木) 8日(金) No.15 東海大学 【79分】		2日(日) No.12 東海大学 【79分】	2日(日) No.12 東海大学 【79分】		14日(土) No.12 東海大学 【79分】	10日(土) No.12 東海大学 【79分】	1日 2023年発行、HP更新
3月	19日(金) No.16 東海大学 【79分】		12日(日) No.13 東海大学 【79分】	12日(日) No.13 東海大学 【79分】		14日(日) No.13 東海大学 【79分】	14日(日) No.13 東海大学 【79分】	9日 2023年発行、HP更新

2023年度の活動狙い

- 工場見学及び講演を通して、技術情報や技術動向を現地現物で提供。13回/年 開催。
- 自動車業界のみならず、異業種やCASE/MaaS/IoT等先進技術領域の見学先も織り込む。
- 開催にあたっては、見学先と密に連携し新型コロナ感染防止対策を確実に実施。

計画内容

回数	開催月	見学先	分野	回数	開催月	見学先	分野
①	4月	キャタラー アーク・クリエイション・センター	自動車部品	⑧	11月	名大、トヨタ博物館（北陸地区限定）	異業種
②	5月	本田技研工業 鈴鹿製作所	車体・エンジン	⑨	11月	カヤバ 岐阜北工場	自動車部品
③	6月	スズキ 相良工場	車体・エンジン	⑩	12月	童夢（若手入会キャンペーン対象者限定）	車体・エンジン
④	7月	デンソー 高棚製作所	自動車部品	⑪	1月	SUBARU航空宇宙カンパニー 半田工場	異業種
⑤	8月	堀場製作所 びわこ工場	異業種	⑫	2月	愛知製鋼 知多工場 & 鍛造工場	材料
⑥	9月	オークマ 本社工場	工作機械	⑬	2月	トヨタ 田原工場	車体・エンジン
⑦	10月	ダイフク 滋賀事業所	異業種				

2023年度の振り返り及び2024年度への反映

- 計画した13回を全て開催することができた。平均参加率は目標である80%以上を達成
- 各回とも20代・30代の若手を含む幅広い年代が参加した
- 入会キャンペーン限定見学会の参加率が70%。それ以外でも対象者枠5名が埋まったのは1回のみ

⇒魅力を訴求する情報発信の仕方を考える

2023年度活動まとめ

- ・会員の研鑽と視野拡大に貢献することを目的に、23年度も計 5 回開催。
- ・幅広い分野からのテーマ選定をするとともに、若手技術者向け講演も取り入れた
- ・新型コロナウイルス感染防止を配慮し、オンデマンド配信を有効活用するとともに、従来の会場集合型講習会の開催も実施し、オンデマンド2回、リアル3回、合計526人の参加（平均 約100人）を得ることができた。
- ・無料参加の若手入会キャンペーン対象者は39人（7%）参加があり、一定の効果が得られた。

実施内容（参加実績等の詳細はP2-3参照）

開催回	開催日	メインテーマ	場所・方法	参加者数
第1回	4/21	安全・魅力なクルマづくり	アクトシティ浜松	143
第2回	7/7~7/31	循環型社会とこれからのモビリティ	オンデマンド	106
第3回	9/19~10/9	どうする!どうなる? モビリティ	オンデマンド	162
第4回	10/19	市場を進化させるクルマたち	三島市民文化会館	69
第5回	11/24	MaaS の最新動向と未来社会のゆくえ	ポートメッセなごや 愛知ITSワールドと共催	46

2024年度への反映/取組み

- ・リアル開催とオンデマンド開催を適宜活用し、会場集合型講習会のメリットと、オンデマンド開催の利便性を活用し開催計画を進める
- ・引き続き、若手入会キャンペーン対象者には参加費無料とし会員入会促進に貢献をする
- ・多くの方の参加機会の場を狙いとし、オンデマンド開催のうち1回の無料開催を検討する
- ・無料開催回は、幹事による編集作業をトライし、経費削減の可能性を検討する

(3) 技術交流会

ねらい：同じ分野の研究・開発に携わっている技術者・研究者の研鑽と相互交流

実施内容：年2回、7月と1月に開催の計画。開催日・場所・テーマ・方法を以下に示す。

第1回 7月14日（金） 豊田中央研究所_厚生施設アクタス Bホール（会場集合型・リアル開催）

10:00～17:20 「クルマの電動化ーインホイールモータへの期待ー」、講師4名、**参加者29名**

第2回 1月26日（金） 刈谷市総合文化センター内中央生涯学習センター401・402研修室（会場集合型・リアル開催）

10:00～17:30 「クルマのモデルベースデザイン」、講師4名、**参加者23名**

※人的交流には面着が有効と判断、第2回は期初計画のZOOM開催からリアル開催に変更

・**事前Webアンケート**（記名で回答：本会への期待と質問、討議希望の講師名）を実施、以下の3部構成で開催

①**講演**（40分×講師4名） ②**全体討議**（事前アンケートの期待と質問に講師・参加者がコメント、約1時間）

③**グループ討議**（講師がリーダー、「インホイールモータ実用化への課題」などテーマを与えて、50分×2回、呈茶・おやつあり）

参加者アンケート結果：大変有効と有効で95%以上。肯定的コメント多数。個人的な討議時間がもっとほしい、など散見。

★第1回：講師と直接討議できる機会はとても有意義。インホイールモータとパワトレ技術・車両制御を体系的に議論できた。

★第2回：講師・同業他社の方と交流できて大変満足。同じモビリティ開発に関わる仲間として、繋がれる感触を持てた。

今後の方針：24年度は23年度を踏襲、事前Webアンケートを実施、会場集合型・リアル開催を継続する。

24年度第1回は、7月12日（金）刈谷駅周辺で開催。講師4名、参加募集数28名で計画中。

(4) 体験型講習会

1.狙い

自技会活動の価値をより理解していただくことを目指し、会員サービスの向上を図るために、「体験する」イベントを開催する。

実際に車の挙動を体験していただき、安全運転に対する再認識と個々の運転技術の向上を図る。

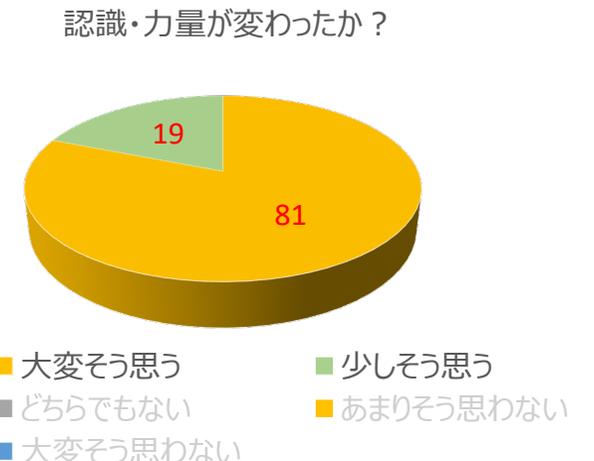
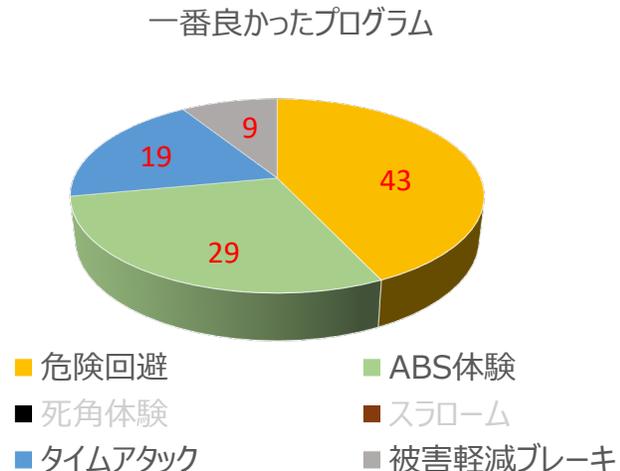
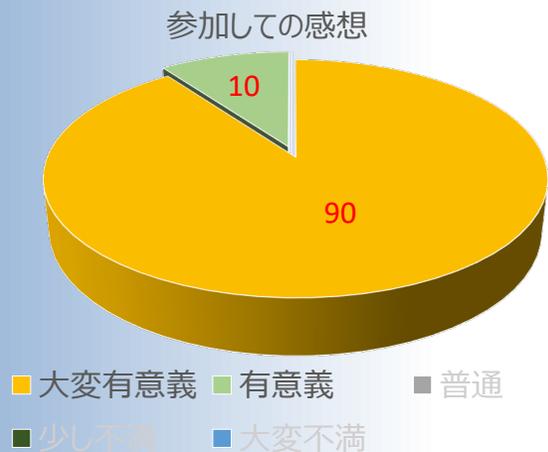


2.実施内容

- 日時 : 2023年11月8日 (水) 9:00~16:30 晴れ 場 所 : キョウセイ交通大学
- 参加者 : 体験参加者21名 (運営 : 幹事5名、お客様2名、ゲスト様6名)
- 内容 : 1)ABS体験・スラローム体験・危険回避体験・タイムアタック・死角体験・被害軽減ブレーキ体験
2) **受講者ディスカッション** (5名程度で班分けし、ほかの参加者が感じたこと・考えたことを聞き、より体験の幅を広げる。)

3.結 果

<アンケート結果> (20代:43% 30代:38% 40代:14% 50代:5%)



4.次年度への反映/取り組み

2024年度は、**予算削減**をしつつ **体験内容も充実**できるよう、会場見直しを視野に入れ、検討する。

(5) 講演会 (総会)

1. 狙い

自動車関連技術の最新情報を、自動車技術に興味を持つ多くの技術者に提供し、自動車技術の将来の展開への期待を醸成するとともに、会員以外の方には、自動車技術へ感心を広げ、自動車技術会の新規会員獲得に繋がる事を期待する。

2. 実施内容

2023年6月19日(月) 16:10~17:30

ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋(名古屋市中区)

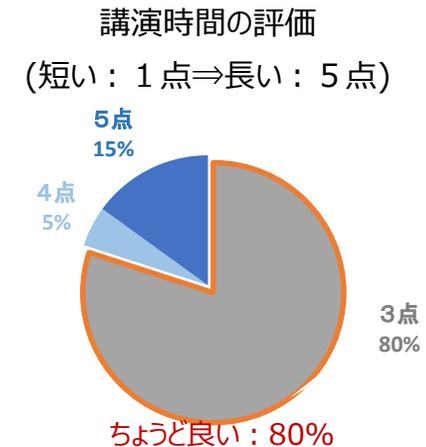
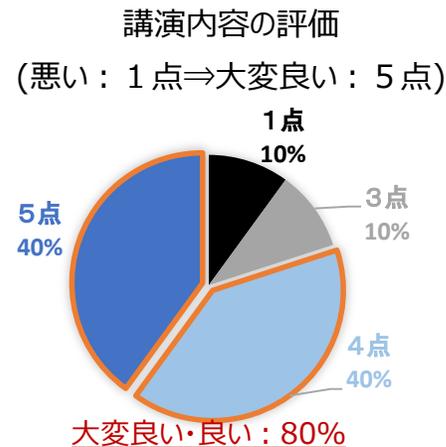
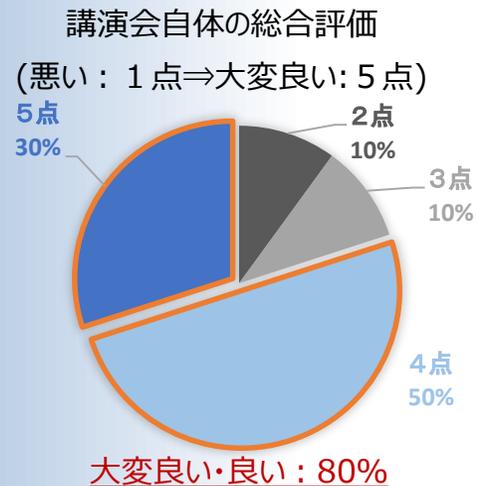
Future株式会社 CEO 井原 慶子様

テーマ：デジタルモビリティサービスによる脱炭素・地域経済圏創出

女性カーレーサーとしてのご自身の体験に始まり、密にならずに脱炭素なモビリティと、地域経済圏を生み出す「GOGO！シェア」プラットフォーム等地域DXをご紹介頂いた。



3. 結果



4. 次年度への反映/取り組み

2024年度は、2023年度本部秋季大会講演会の、名工大 田中教授の再登板を企画。デモを含めて確実な企画を心がける。

(5) 講演会（本部秋季大会）

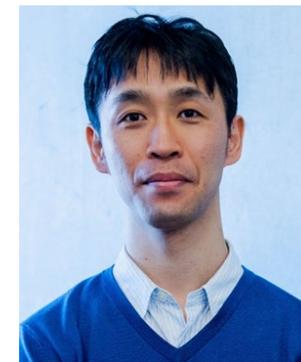
1.狙い 自動車関連技術の最新情報を、自動車技術に興味を持つ多くの技術者に提供し、自動車技術の将来の展開への期待を醸成するとともに、会員以外の方には、自動車技術へ感心を広げ、自動車技術会の新規会員獲得に繋がる事を期待する。

2.実施内容 日時：2023年10月12日(木) 16:15～17:15

場所：名古屋国際会議場(名古屋市熱田区熱田西町1番1号)

講演者：名古屋工業大学 大学院工学研究科・教授・稲盛科学研究機構 フェロー

講演テーマ：「触覚の主観性と身体性が拓く新しいものづくり、ことづくり」



田中 由浩氏

3.結果 <参加者の感想>

- ・大変興味深い話で良かったと思います。場慣れされているせいか、引き込まれていくような感じで素晴らしかったです。時間が短かったか？
- ・触感は、自動車関係では内装品や外装品との関連性が非常に高く、特に指の途中で指先の振動を感知して触感を測る発想は凄いと感じました。

4.次年度への反映/取り組み 私達、幹事の行う事としては 基本本部業務なので講演者様の選定・決定と当日のお迎えアテンドのみ。一般市民の方も参加可能なため、歴史・文化なども含めて広い視点でテーマ選定が必要。次回は、5, 6年先に担当が回ってくるので その**時代のトレンド等のウォッチ**が必要。

2023年度実施結果

- ・所属会社、経歴の枠を越えた技術者同士の研鑽と交流による人脈作り、技術者に求められる資質・能力向上の気づきを得る目的で開催。23年度は年2回（中堅、女性）を開催。＊若手は中止

実施報告

■ 中堅技術者懇談会（2023年9月29日（金）9:00～17:30 場所：ウインクあいち 12社23名）

- ・テーマ「エンジニアのジレンマ～技術者自身の葛藤・経験を相互に共有し、今後に活かす～」
- ・Techno Revolutions LLC CEO 加藤喜昭氏講師による講演会を開催。

■ 女性懇談会（2024年2月16日（金）場所：Lucy's CAFE&DINING 8社29名）

- ・技術者に限定せず、広く参加者を募集
- ・テーマ「私の働き方」から、仕事と家庭の両立、キャリア、ワークライフバランスでグループを作り、グループワークを実施
- ・加古理事のご経験談、女性アドバイザーによるパネルディスカッション、参加者全員コメントの共有

■ 若手技術者懇談会（23年度は開催を中止）

結果・課題

- ・**24年度も実地開催を継続。**（密な交流、参加者の満足度が高い）
女性懇談会については、突発事由の場合のみハイブリッド対応（リモート参加者の会話導入に配慮が必要）

活動の狙い

- 幅広い知識・見識習得の一助として、技術者の気付きにつなげることを狙いとし、自動車に限定しない幅広い特集テーマを企画。中部に限らず全国の会員が関心を持っていただける情報を提供する。

実施内容

- 計画通り93号は9月27日、94号は2月1日に電子ブックとして発刊。
- 93号、94号ともに14回の編集委員会にて記事案決め、相手先の調整、取材含め記事化、校正を行った。
- 記事構成は、特集5件、シリーズ中部、いまさら聞けない豆知識、モータースポーツ、いっぷくしよまい支部事業紹介(94号ですべての事業の紹介完了)、支部事業報告。
尚、特集テーマは、93号「未来の暮らしを創る」、94号「攻めと守り」

結果/2024年度反映

- アンケート結果は、良い・やや良いの高評価が89%※となった。
- 新たなアクセス解析により、読者数は1697名※であった。 ※93号データ
- 94号から、発行から2週間、メルマガからのワンクリックで電子ブックに直接アクセス可能とし、ログインのわずらわしさを抑え読者の拡大を図った。
- 2024年度も記事構成は継続し、メルマガなどによるアクセス増のさらなる対応を継続する。

2023年度活動狙い

- ◆ 学生会員の自動車技術への関心を深め、会員相互の親睦を図る。
2022年度の事故を教訓に安全を強く意識してイベントを計画・実施する。

2023年度実施行事

行 事	2023年度実施 回数
学生委員会	5回 (4月、7月、10月、12月、2月) <small>オンライン</small>
参与会	2回 (4月、10月) <small>オンライン</small>
安全ミーティング	5回 (4月、7月、10月、12月、2月) <small>オンライン</small>
安全講習会	5回 (6月×2、7月、10月、12月) <small>オンライン</small>
支部合同試走会	1回 (8月) <small>対面</small>
中部支部試走会	1回 (9月) <small>対面</small>
カート走行会	1回 (2月) <small>対面</small>
交流会	3回 (7月、10月、11月) <small>オンライン2回,対面1回</small>
ものづくりセミナー	1回 (7月) <small>オンライン (講演) +対面 (講義)</small>
テクニカルセミナー	1回 (11月) <small>対面</small>
レーステスト見学	1回 (2月+3月) <small>対面</small>
学術講演会	1回 (3月) <small>対面</small>
工場見学	1回 (3月) <small>対面</small>

2023年度 総括

- 中部支部主催のエコパ試走会を安全に実施することができた。
- 安全講習会（安全知識の獲得）・安全ミーティング（危険に関する討論）を通じて、学生の安全意識が非常に向上した。何かをするときには、学生自らが、安全かどうか、危険は潜んでいないかを考えるようになった。

2024年度への反映/取り組み

- 安全意識が低下しないように、引き続き安全講習会と安全ミーティングを実施していく。
- 行事の内容・目的に応じて、対面とオンラインをうまく使い分ける。

■ 2023年度の狙い

子供たちのモノづくりに挑戦する楽しさや感動の育み。将来のエンジニア誕生のきっかけ作り。

実施イベント「ウインドカー作り(W)」「エンジン分解組立(E)」「ロボットカープログラミング(R)」「学生フォーミュラカー展示(F)」

開催数は年10回、中部地区7県にて

■ 実施内容

・第1回瑞浪市から第10回焼津市まで計画通り実施。

・イベント実施回数は計21回、参加人数は計581名。イベント毎の実施回数と参加人数は以下の通り。

ウインドカー作り：7回、181名、 **エンジン分解組立**：8回、81名、 **ロボットカープログラミング**：3回、43名、

学生フォーミュラカー展示：3回、276名。コロナ前の状況に戻りつつある。

各イベントは好評で、募集数を上回る応募あること多数、また学生フォーミュラでの搭乗整理券は記念品として喜ばれた。

これまで親子参加型で実施してきたが、第9回富山市では、コロナ以降初の、全イベント“子供のみ参加型”で実施した。

■ 2024年度への反映/取組み

・運営効率化のため、学生アルバイトの活用、講師担当やWGメンバーの整理、告知原稿やバナーの共用化を進める

・機材や備品の整備（Rカー老朽対策、ポスターパネル更新、倉庫整理、Wカーコース更新）

・支部間連携の一環として関西支部からのイベント開催要望に対応

(10) 新技術領域への取組

概要

目的：21年度/22年度で経験し、ノウハウを確立した告知・認知活動および非会員企業/団体との共同活動から入会活動に結びつける取組を継続する。また課題となっている中部支部予算との成立性を図り、次年度以降も本活動が継続的に入会勧誘事業としての成果があげられるための土台づくりを行う。

開催日：22年11月に委員会活動キックオフ実施し、2回/月の頻度で委員会を開催。（'23/10まで21回開催）

運営：委員会メンバー5名および中部支部事務局サポートメンバーにて委員会構成し、委員会開催。

また、本部の展示会WGにオブザーバとして参加。

活動実績

24年度以降の活動について下記の方角性を固めた：

- ①人テク名古屋中部支部リアルブース出展のため、中部7県をロケーションにおく企業より出展を募り、出展に向けた共同活動を通して自技会活動参画メリットを体験頂く。
(出展費用は参加企業負担とし、中部支部からは出展メリットを示せるような出展条件の調整を図る)
- ②中部支部HP等に活動成果（パネルデータ等）を掲載、定期的に更新をかけることにより、各社との協力関係を持続する。
- ③中部支部ポスターを毎年更新し、中部支部イベントおよび入会メリットを認知・告知頂く活動を展開する。

今後の予定

23年11月より新メンバーにより24年度リアルブース対応に向けた活動をスタートした。（開催頻度2回/月）

(11) ワーキング (人テク) 講演会

2023年度活動狙い

- 中部地区の会員・非会員にかかわらず、多くの技術者が注目する「人とくるまのテクノロジー展2023 NAGOYA」を活用し、自技会の活動に興味を持っていただき会員増強につながるイベントを開催する。自技会 技術企画展示テーマに合わせ、同カーボンニュートラルをテーマに講演会を企画する。

実施内容

- 日時：2023年7月5日（水） 場 所：愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）
- 概要

所属	氏名	タイトル	聴講者
三菱重工業株式会社 カーボンニュートラル推進室	室長 森原 雅幸 氏	三菱重工グループのカーボンニュートラル宣言 「MISSION NET ZERO」実現に向けた取組	聴講者数 : 191名 オンラインlive : 353名 オンデマンド : 725名
名古屋大学 未来材料・システム研究所	准教授 今岡 淳 氏	車載用パワーエレクトロニクスの技術動向と高性能化へ に向けた応用事例	聴講者数 : 131名 オンラインlive : 323名 オンデマンド : 1150名

結果・課題

- 予約数に対し、当日は約70%の参加数だった。次年度の運営には、事前に対応を検討しておく必要がある。
- 本部、代理店（大成社）、中部支部（担当幹事）との間での日程、役割について引継書へ反映する。

2023年度活動狙い

- 中部地区の会員・非会員が多く集まる「人とくるまのテクノロジー展2023 NAGOYA」の場を活用し、若手技術者のステップアップの場としての位置付けは従来通り踏襲し、研究成果をより多くの研究者に知らせる場を提供する。

実施内容

- 日時：2023年7月6日（木） 10:30～16:05 場 所：愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）

- 概要

2会場に分け、8テーマに分類して聴講者を事前募集（募集定員70名*）し、実開催のみとして開催。

当日参加希望者が多数あったため、キャンセル待ち対応を実施。

* 募集定員計画時はコロナの影響も考慮し、会場席数の2/3（2名/3名テーブル）とした。

結果・課題

- 予約数はどの発表ブロックもほぼ満席であったが、当日キャンセルが多数発生。
着座数は60～70%程度となったため、次年度の運営には、これらの対応を事前に考えておく必要がある。

(12) 協賛

狙い

知識の幅を広げ、関連団体との連携を深めることで、会員サービスの向上を図る。

実施内容

他学会および団体等の**11機関**、**27事業**に協賛・協力。（下表は23年度実績）

2024年度への取組み

会員サービスおよび自動車業界発展のため、他学会・団体と協賛する。

協賛団体	回数	内容
高分子学会東海支部	2	講演会, 講習会
色材協会中部支部	3	セミナー
精密工学会東海支部	1	実践講座
中部生産加工技術振興会	1	講演会
電子情報通信学会東海支部	1	講習会
日本機械学会東海支部	4	講演会, 講習会
日本交通心理学会	1	定期大会
日本設計工学会東海支部	7	講演会, 講習会, 見学会
日本塑性加工学会東海支部	2	セミナー
名古屋市工業研究所	4	講演会
日本交通医学工学研究会	1	学術総会

議案2. 2023年度 支部会計決算報告 1/4

(2023年4月1日～2024年3月31日)

単位:円(除消費税)

科 目		2023年度 予算(a)	2023年度 実績(b)	差額 (b)-(a)
収入	当期収入合計(A) 交付金+事業収入	21,808,000	21,158,964	▲ 649,036
	前期繰越収支差額	6,567,065	6,567,065	0
	収入合計(B)	28,375,065	27,726,029	▲ 649,036
支出	事業費	20,762,000	19,227,095	▲ 1,534,905
	当期支出合計(C)	20,762,000	19,227,095	▲ 1,534,905
当期収支差額 (A)-(C)		1,046,000	1,931,869	885,869
次期繰越収支差額 (B)-(C)		7,613,065	8,498,934	885,869

議案2. 2023年度 支部会計決算報告 2/4



■収入

科目	行番号	2023年度 予算	2024年3月 累計			備考 (差額の主な要因)	
			予算(a)	実績(b)	差額(b-a)		
収入	1. 交付金	1	11,666,000	11,666,000			
	(1)本部交付金	2	10,566,000	10,566,000	0		
	(2)特別交付金	3	1,100,000	1,100,000	0	社会貢献:100万円、学生フォーミュラ:10万円	
	2. 事業収入	4	10,142,000	10,142,000	9,492,716	▲ 649,284	
	(1)支部通常総会	5	650,000	650,000	629,093	▲ 20,907	
	(2)講習会・交流会	6	1,662,000	1,656,358	1,656,358	▲ 5,642	
	a)第1・4回技術講習会	7	720,000	720,000	749,999	29,999	
	b)第2・5回技術講習会	8	500,000	500,000	241,817	▲ 258,183	参加者数減
	c)第3回技術講習会	9	300,000	300,000	299,999	▲ 1	
	d)技術交流会	10	142,000	142,000	364,543	222,543	第2回オンラインからリアル開催に変更による、参加費増
	(3)技術者懇談会	11	210,000	210,000	178,183	▲ 31,817	
	(4)体験型講習会	12	600,000	600,000	300,000	▲ 300,000	募集定員減
	(5)見学会	13	1,040,000	1,040,000	675,445	▲ 364,555	参加者数減
	(6)研究発表会	14	0	0	0	0	
	(7)支部報刊行	15	5,630,000	5,630,000	5,750,000	120,000	
	(8)学生関連	16	350,000	350,000	303,637	▲ 46,363	
	a)学自研	17	150,000	150,000	130,908	▲ 19,092	
	b)中部学生フォーミュラ	18	200,000	200,000	172,729	▲ 27,271	
	3. 雑収入	19	0	0	248	248	
	当期収入合計(A) 1~3の合計	20	21,808,000	21,808,000	21,158,964	▲ 649,036	
	4. 前期繰越収支差額	21	6,567,065	6,567,065	6,567,065	0	
	収入合計(B)	22	28,375,065	28,375,065	27,726,029	▲ 649,036	

別紙3(P69)を参照

■支出

科目	行番号	2023年度 予算	2024年3月 累計			備考 (差額の主な要因)	
			予算(a)	実績(b)	差額(b-a)		
支出	1. 事業費	23	20,762,000	20,762,000	19,227,095	▲ 1,534,905	
	(1)支部通常総会	24	1,960,000	1,960,000	1,629,915	▲ 330,085	会場費、軽飲食費減
	(2)講習会・交流会	25	2,535,000	2,535,000	2,134,841	▲ 400,159	
	a)第1・4回技術講習会	26	681,000	681,000	533,528	▲ 147,472	講師謝礼金辞退等
	b)第2・5回技術講習会	27	1,043,000	1,043,000	715,618	▲ 327,382	第5回オンラインからリアル開催に変更により、撮影費減
	c)第3回技術講習会	28	503,000	503,000	520,850	17,850	
	d)技術交流会	29	308,000	308,000	364,845	56,845	
	(3)技術者懇談会	30	515,000	515,000	416,281	▲ 98,719	
	(4)体験型講習会	31	1,288,000	1,288,000	1,088,529	▲ 199,471	レンタカー台数半減
	(5)見学会	32	1,299,000	1,299,000	1,374,737	75,737	
	(6)研究発表会	34	111,000	111,000	57,593	▲ 53,407	
	(7)支部報刊行	33	5,783,000	5,783,000	4,913,090	▲ 869,910	校正回数減による外注費削減
	(8)社会貢献活動	35	1,140,000	1,140,000	1,675,485	535,485	学生アルバイト費用、備品運搬費増
	(9)学生関連	36	2,355,000	2,355,000	2,189,976	▲ 165,024	
	a)学自研	37	430,000	430,000	526,398	96,398	
	b)中部学生フォーミュラ	38	1,925,000	1,925,000	1,663,578	▲ 261,422	合同試走会外注費減
	(10)刊行物出版	39	544,000	544,000	0	▲ 544,000	本部契約の外注先に一本化
	(11)会員関連	40	1,240,000	1,240,000	557,758	▲ 682,242	人テク展名古屋出展見送り
	(12)役員会	41	840,000	840,000	915,855	75,855	
	a)夏季役員会	42	200,000	200,000	100,600	▲ 99,400	
	b)新年役員会	43	630,000	630,000	784,688	154,688	会場費、軽飲食費増
	c)春季役員会・秋季役員会	44	10,000	10,000	1,909	▲ 8,091	
	d)担当幹事会	45	0	0	28,658	28,658	
	(13)共通	46	1,152,000	1,152,000	2,273,035	1,121,035	イベント運営備品新規購入等
	当期支出合計(C)	47	20,762,000	20,762,000	19,227,095	▲ 1,534,905	
	当期収支差額(A)-(C)	48	1,046,000	1,046,000	1,931,869	885,869	
	次期繰越収支差額(B)-(C)	49	7,613,065	7,613,065	8,498,934	885,869	

＜収支改善 主な事業＞

- ① 支部報 ➡ 校正回数を減らし、外注費の削減（87万減）
- ② 新技術領域の取組 ➡ 予算余り（60万減） 予算残は、24年度予算に上乗せ計上
- ③ 刊行物出版 ➡ 支部メルマガの外注先を本部が契約する外注先に一本化（55万減）
- ④ 支部通常総会 ➡ 会場をANAクラウンプラザホテル グランコート名古屋に変更（33万減）

＜収支悪化 主な事業＞

- ① 共通-事務局運営費 ➡ イベント運営備品新規購入等（112万増）
- ② 社会貢献 ➡ 学生アルバイト費用、備品運搬費増（53万増）

＜繰越金額の推移＞

22年度末 23年度末

・繰越金は、6,567,065円 ➡ 8,498,934円 に増加（193万増） 

◆公益法人に求められる財務三要件の達成状況

三要件、全て達成

要件	内容	23年度決算
①公益事業比率	公益目的事業にかかる費用の全費用に占める割合が50%以上であること	69%
②収支相償	公益目的事業に係る収入が、その実施に要する適正な費用を償う額を超えないこと	条件を満たす 8,732,715 < 13,324,134 (単位：円)
③遊休財産額保有制限	遊休財産の額が公益目的事業にかかる費用を超えないこと（100%以下）	63%

監査報告

2023年度事業および会計の監査を2024年4月23日（火）に行った結果、
いずれも適正かつ正確であることを認めます。

2024年 4月 23日

監査役

榎 隆博 

監査役

鳥谷晃哲也 

1. 理事候補者 1

(敬称略)

団体名	氏名	団体名	氏名	団体名	氏名
愛三工業(株)	此原 弘和	(独)産業技術総合研究所	千野 靖正	大豊工業(株)	加納 知広
(株)アイシン	大川 明美	(株)ジェイテクト	村田 正博	(株)ダッド	久保田 知久雄
(株)アイシン	山本 義久	静岡理工科大学	野崎 孝志	(株)デンソー	杉浦 慎也
(株)アイシン	筒井 洋	ジヤトコ(株)	秋山 佳信	(株)デンソー	杉戸 克彦
アイシン高丘(株)	平川 竜一	スズキ(株)	角野 卓	(株)デンソー	近藤 耕治
愛知機械工業(株)	犬飼 政博	スズキ(株)	市野 一夫	デンソーテクノ(株)	杉山 宏
(株)アドヴィックス	近藤 功一	スズキ(株)	伊勢 敬	(株)東海理化	長尾 貴史
臼井国際産業(株)	水野 賀寿光	(株)S O K E N	福井 伸治	豊田合成(株)	池田 富栄
(株)トヨタコンポン研究所	渡部 浩康	大同メタル工業(株)	吉田 有宏	トヨタ自動車(株)	海田 啓司

全体は別紙4 (P71,72) を参照

1. 理事候補者 2

(敬称略)

団体名	氏名	団体名	氏名	団体名	氏名
トヨタ自動車(株)	加古 慈	トヨタ紡織(株)	虎尾 正徳	三菱自動車工業(株)	塩崎 弘隆
トヨタ自動車(株)	則包 壮大	トヨタ紡織(株)	加藤 麻美	三菱自動車エンジニアリング(株)	志水 彰夫
トヨタ自動車東日本(株)	根岸 昭二	豊橋技術科学大学	横山 博史	名城大学	中島 公平
トヨタ自動車東日本(株)	富澤 浩紀	(株)ランテックス	深沢 孝志	矢崎総業(株)	山田 広明
(株)豊田自動織機	熊澤 聡太郎	名古屋大学	青木 宏文	ヤマハ発動機(株)	丸山 平二
トヨタ車体(株)	村瀬 幸成	日本特殊陶業(株)	鈴木 啓司		
トヨタ車体(株)	吉村 仁	本田技研工業(株) 鈴鹿製作所	高橋 秀明		
(株)豊田中央研究所	田辺 稔貴	三重大学	池浦 良淳		
トヨタテクニカルイノベーション(株)	舟橋 陽一	三菱自動車工業(株)	澤瀬 薫		

全体は別紙4 (P71,72) を参照

2. 監査役

(敬称略)

氏名	団体名	退任者
山田 潤	(株)SOKEN	鳥谷尾 哲也
楠 隆博	元 大豊工業(株)	留任

全体は別紙5 (P73) を参照

1. 2023年度 支部事業報告
2. 2023年度 支部会計決算報告
3. 2023年度 支部事業および会計監査報告
4. 2024・2025年度 支部役員
- 5. 2024年度 支部方針および事業計画**
6. 2024年度 支部予算

2024年度 支部方針

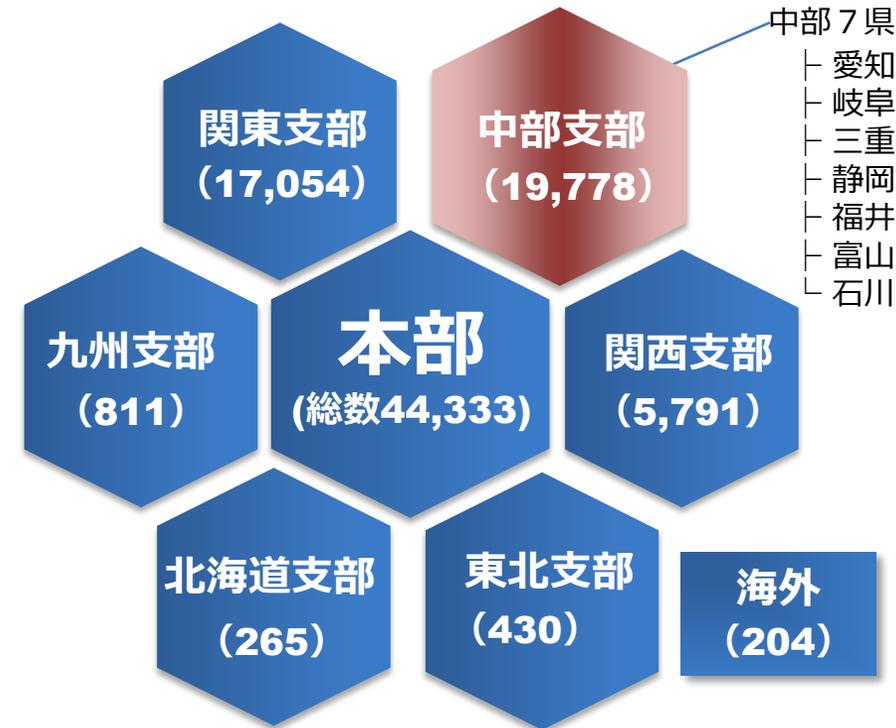
コロナ禍は一段落したが、終息は見通せない。感染を配慮しつつ、知能化や資源循環などの技術領域を取り入れ、自動車の新たな課題にチャレンジする。(本部方針から)

中部支部は全支部の中で、会員数が最も多く、会員サービスの事業内容も充実している。一方で会員数減少傾向も最も大きい。今後、参加者数や資金面で支部活動への影響が課題となってくる。会員数の維持・若手会員増強、支部収支の見直しなど、経営努力が求められる。またコロナ回復時において、イベント参加率向上も課題である。

これらを踏まえ、以下3点を重点項目として取り組む

- 過去の支部方針に掲げたウイズコロナ禍の手法を活かしつつ、各世代の会員の意識に訴えられるよう、時流に即したテーマを取り上げ、デジタル手法を併用し、メリハリがある活動する **(支部運営)**
- 特に若手に寄り添い、魅力を感じられる企画、わかりやすい表現方法をもって告知する **(イベント)**
- デジタルツール活用や内製化を進め、コスト意識を醸成すると共に、事業の合理的改善を図る **(財政)**

支部構成と会員数 (): 会員数

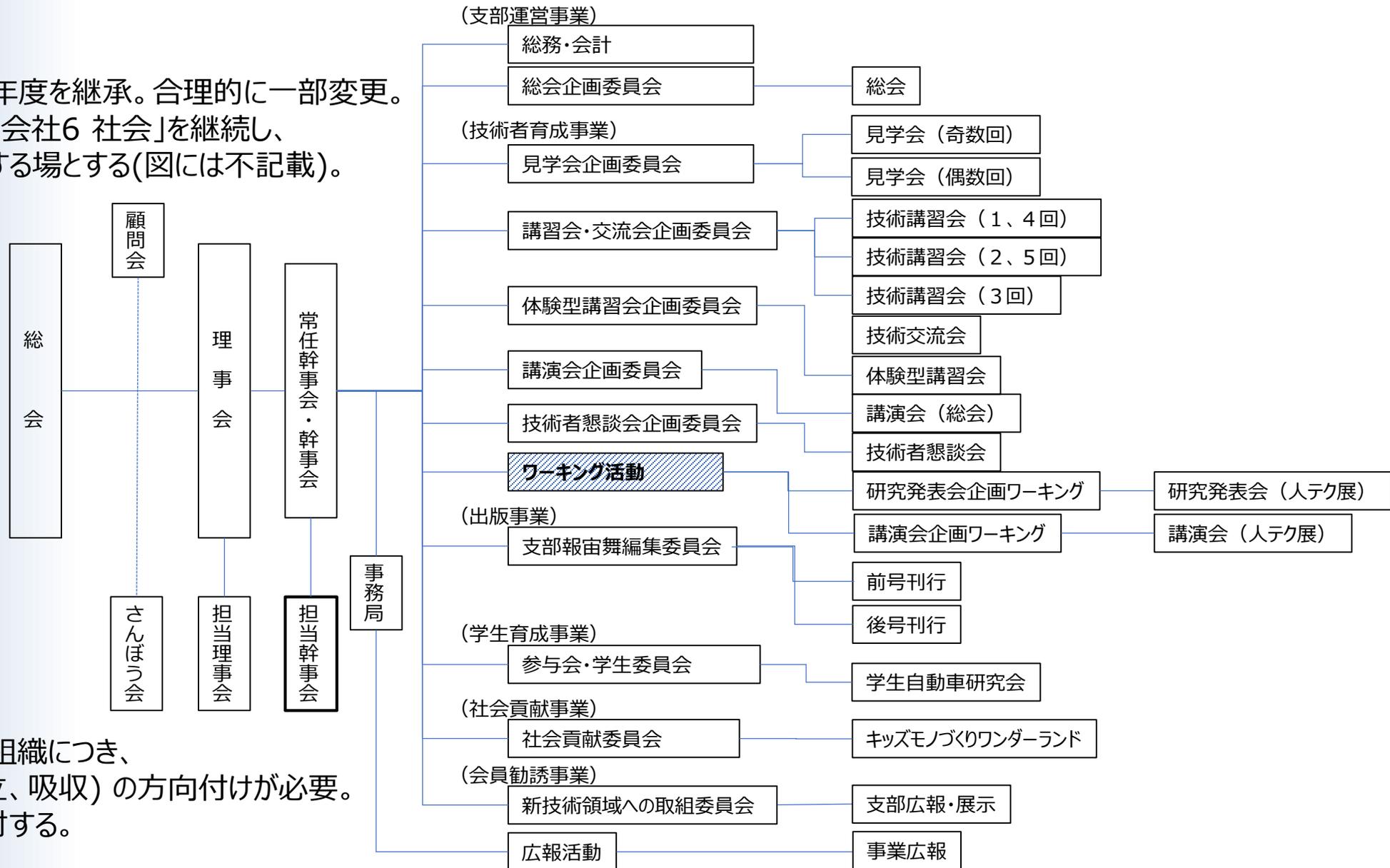


2024/5/1現在

賛助会員：744団体

組織

- ・体制と事業は概ね2023年度を継承。合理的に一部変更。
- ・担当幹事会下に「支部長会社6 社会」を継続し、支部のガバナンスを議論する場とする(図には不記載)。



「ワーキング活動」は暫定組織につき、事業化可否(委員会独立、吸収)の方向付けが必要。2024年度にあり方を検討する。

役員会

2023年度と同様の会議体構成とする。対面開催を1回増やし、オンライン開催と効果的に使い分ける。

行 事		出 席 対 象	開 催 日 時	開 催 方 法
役員会	春季合同役員会	支部長、担当理事、常任幹事、幹事、監査役	5月13日(月) 15:00~17:00	オンライン
	夏季合同役員会 + 懇親会	支部長、顧問、理事、常任幹事、幹事、 監査役、さんぼう会、	8月21日(水) 15:30~17:15 17:30~19:00	対面 (金山)
	秋季合同役員会	支部長、担当理事、常任幹事、 担当幹事、監査役	11月22日(金) 15:00~17:00	オンライン
	新年合同役員会 + 新年祝賀パーティー	支部長、顧問、理事、担当理事、常任幹事、幹事、 監査役、さんぼう会、賛助会員	2025年 1月27日(月) 15:30~17:15 17:30~19:00	対面 (金山)
	担当幹事会 (年4回)	担当幹事 (担当幹事会社の常任幹事、担当幹事) 13:30~17:00	6月18日(火) 9月3日(火) 11月5日(火) 2025年 2月4日(火)	対面+ オンライン
支部通常総会 + 講演会、会員パーティー	支部長、顧問、理事、担当理事、常任幹事、幹事 監査役、さんぼう会、正会員、学生会員	6月6日(木) 15:00~16:00 16:10~17:30 17:45~19:15	対面 (金山)	

会員状況と新表記

- ・2024年5月1日時点
- ・全体は別紙6（P74）を参照

会員の増減を正確に理解するため、2024年度以降、異動（転出・転入）を新たに表記する。

区分（支部）		年度末	現在	前年度末比 増減	占有率 （%）	1Q（2024年3月～2024年5月）		
		24年3月1日	24年5月1日			入会	退会	異動
支部 会 員	北海道	310	265	▲ 45	0.6%	5	50	0
	東北	493	430	▲ 63	1.0%	19	82	0
	関東	18,194	17,054	▲1140	38.5%	298	1445	7
	中部	20,330	19,778	▲ 552	44.6%	266	846	2
	関西	6,080	5,791	▲289	13.1%	120	409	0
	九州	900	811	▲89	1.8%	38	93	▲8
海外	213	204	▲9	0.5%	3	11	▲1	
合計	46,520	44,333	▲2,187	—	749	2936	0	

2024年度末時点の会員数は、2023年度末数維持を目標。

本部入会サポート

入会サポート
START YOUR JSAE MEMBERSHIP **FOR FREE**

自動車技術会に入会して
異分野交流でスキルアップ

好評につき対象年齢を**39歳以下**に拡大

サポート期間
2024 4/1(月) > 2025 2/20(木)
サポート期間中 新規入会申込者は

2024年度
入会金
年会費 最大 **8,300円相当無料**

さらに
対象催事の参加費も何回でも **無料**

詳しくはこちら



サポートの対象となる催事

- 春季大会**
聴講のみ
無料となります。
講演者は対象外です。
- 秋季大会**
聴講のみ
無料となります。
講演者は対象外です。
- シンポジウム**
聴講のみ
すべてのシンポジウムが
無料となります。

入会するとこんなにお得

春季大会・秋季大会	シンポジウム
一般価格(税込) ¥22,000 > ¥0	一般価格(税込) ¥33,000 > ¥0

注意事項

- ・2024年4月1日～2025年2月20日に入会申込をいただき、かつその時点で39歳以下の方
- ・過去に入会無料キャンペーンを利用された方は対象外です。
- ・ご退会後、6か月を経過されない方の再入会はサポート対象外です。
- ・催事への参加は入会サポート用のクーポン番号の登録が必要になります。
- ・クーポン番号の入力がない場合は有料参加となります。
- ・入会年度の催事のみ有効です。

詳しくはこちら



お問い合わせ先
事務局 公益社団法人自動車技術会 総務課 会員担当
mbs@jsae.or.jp



支部独自特典

対象者

- ・2022年度、2023年度 若手入会キャンペーン 入会者
- ・2024年度 入会サポート 入会者

イベント名	特典
技術講習会	第2, 3, 4, 5回は 正会員無料 (第1回は案内発行済のため対象外)
見学会	優先5名に 無料枠 を設定
体験型講習会	対象者は 半額
技術交流会	先着5名に 無料枠 を設定
若手・中堅技術者懇談会、女性懇談会	対象者無料

事業計画 「中部支部事業」一覧

事業	総会 顧問会 役員会 【本部事業】	担当幹事会 グループ事務担当者会議	見学会	研究発表会・講演会 技術講習会 体験型講習会 新技術領域への取組	技術交流会 技術者懇談会	社会貢献	学生自動車研究会 学生フォーミュラ	出版
4月				19日(金) 第1回技術講習会 (アクトシティ浜松) [ヤマハ発動機]		21日(日) 第1回キッズ・モノづくり ワンダーランド (岐阜：サイエンスワールド) [日産オートモーティブテクノロジー]	13日(土) WEB開催 参加会#1・学生委員会#1 安全ミーティング#1 [名城大学]	1日 メルマガ発行、HP更新
5月	13日(月) WEB開催 春季合同役員会 No.1 担当理事会/常任幹事会 [デンソー・トヨタ車体] ハイブリッド開催 22日(水)～24日(金) 【本部春季大会】 【人テク展2024 横浜】 (パシフィコ横浜) 23日(木) 【本部定時総会】 (パシフィコ横浜)		17日(金) No.1 ヤマハ発動機 本社工場 [本田技研工業]		18日(土) 第2回キッズ・モノづくり ワンダーランド (石川：こまつの杜) [スズキ]	* * 日() WEB開催 安全講習会 [* * * 大学] * * 日() WEB開催 ものづくりセミナー [豊橋技術科学大学]	7日 メルマガ発行、HP更新	
6月	6日(木) 通常総会・併催行事 (ANA クラウンパレスホテル名古屋) [デンソー・トヨタ車体]	18日(火) ハイブリッド開催 No.1 担当幹事会 [トヨタ車体]	28日(金) No.2 eve autonomy [豊田合成]	6日(木) 総会講演会 (ANA クラウンパレスホテル名古屋) [スズキ]		9日(日) 第3回キッズ・モノづくり ワンダーランド (石川：こまつの杜) [スズキ]	29日(土) 基礎技術交流会 (刈谷市産業振興センター) [福井大学]	3日 メルマガ発行、HP更新
7月	ハイブリッド開催 17日(水)～19日(金) 【人テク展2023名古屋】 (Aichi Sky Expo)	5日(金) グループ事務担当者会議 (サイプレスガーデンホテル) [トヨタ車体]	26日(金) No.3 NTN 岡山製作所 [デンソーテクノ]	17日(水) ハイブリッド開催 人テク展 講演会 (Aichi Sky Expo) [デンソー] 18日(木) 研究発表会 (Aichi Sky Expo) [デンソー] ハイブリッド開催 17日(水)～19日(金) 人テク展 中部支部展示 (Aichi Sky Expo) [アイシン] WEB配信 22日(月)～8/9(金) 第2回技術講習会 [トヨタ紡織]	12日(金) 第1回技術交流会 (刈谷市中央生涯学習センター) [豊田中央研究所] 19日(金) 若手技術者懇談会 (Aichi Sky Expo) [トヨタ自動車]	7日(日) 第4回キッズ・モノづくり ワンダーランド (三重：そらんぼ四日市) [アイシン]	6日(土) WEB開催 学生委員会#2 安全ミーティング#2 [名城大学]	1日 メルマガ発行、HP更新

- ・左図は4-7月までの抜粋。全体は別紙7 (P77) を参照。
- ・ () 内は開催会場、[] は担当会社・担当校
- ・見学会の見学先は、候補先として折衝中のものもあり。

赤太字：確定日程
青太字：仮日程

- (1) 見学会
- (2) 技術講習会
- (3) 技術交流会
- (4) 体験型講習会
- (5) 講演会（総会）
- (6) 技術者懇談会
- (7) 支部報
- (8) 学生自動車研究会
- (9) 社会貢献
- (10) 新技術領域への取組
- (11) ワーキング（人テク）講演会・研究発表会
- (12) 広報活動

2024年度の活動狙い (2023年度を踏襲)

- 工場見学及び講演を通して、技術情報や技術動向を現地現物で提供。13回/年 開催。
- 自動車業界のみならず、異業種やCASE/MaaS/IoT等先進技術領域の見学先も織り込む。
- 開催にあたっては、見学先と密に連携し新型コロナ感染防止対策を確実に実施。

計画内容：若手技術者入会キャンペーン対象者優先枠拡大見学会をトヨタ博物館にて開催。

回数	開催月	見学先	分野	回数	開催月	見学先	分野
①	5月	ヤマハ発動機 本社工場 (中止)	車体・エンジン	⑧	11月	京都機械工具(KTCものづくり技術館)	工作機械
②	6月	eve autonomy (イブ・オートノミー)	異業種	⑨	11月	SUBARU航空宇宙カンパニー 半田工場	異業種
③	7月	NTN 岡山製作所	自動車部品	⑩	12月	トヨタ博物館	異業種
④	8月	モリタ 三田工場	車体・エンジン	⑪	12月	海洋研究開発機構	研究所
⑤	8月	JERA 碧南火力発電所	異業種	⑫	1月	大同特殊鋼 星崎工場	材料
⑥	9月	航空自衛隊 浜松基地	異業種	⑬	2月	三菱重工航空エンジン	異業種
⑦	10月	北川工業 春日井工場	自動車部品				

※青文字：内諾受領済の見学先
黒文字：打診・調整中

2024年度の取り組み (2023年度を踏襲)

- 募集規模の適正化 (40→20名 且つ 10名/Gr) やPR効果を意識したイベント告知で参加率向上を図る。
- 若手に魅力のあるコンテンツの企画・実践に重点的に取り組む。
- 入会サポートの特典 (無料化) として、対象者枠5名の確保や優先枠拡大見学会を開催する。

(2) 技術講習会

概要

狙い：会員の研鑽と視野拡大に貢献することを目的に、24年度も計5回開催する。幅広い分野からのテーマ選定により多くの聴講者を見込むと共に、他支部との連携も視野に入れるなど、会員の満足度向上を図る。

活動内容：2024年度はリアル開催とオンライン開催を適宜活用し、会場集合型講習会のメリットと、オンライン開催の利便性を活用し開催計画を進める。また、多くの方の参加機会の場を狙いとし、第2回以降は会員は参加費無料とする。

開催回	時期	会場	募集目安	テーマ
第1回	4月 19日	浜松（アクティ浜松）	120名	「安全・魅力なクルマづくり」とし、新機種の最新機能の技術説明、開発の狙いなどの紹介や、最近話題の技術に関する講演を計画する。講演後、講演会場にて各講師を囲んでの交流会も実施する。
第2回	7月	オンライン	150名	カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーの他、自動車業界においても切り離す事できない時流に沿ったテーマを幅広く検討。参加利便性を考慮しオンラインで計画する。
第3回	9月	オンライン	150名	操安性、生産技術など基礎技術の進化を含め幅広い分野からの講演を検討中。また、若手技術者に興味を持っていただける講演も考慮する。
第4回	10月 18日	三島 (三島市民文化会館)	120名	「市場を進化させるクルマたち」とし、他の講習会で取り上げたテーマ、技術などを採用した話題の車両の開発に関わる講演及び車両の展示を計画する。実車を囲んで開発者と意見交換できる講習会を継続する。
第5回	11月	刈谷 (仮:刈谷市産業振興センター)	150名	1～4回のテーマとの調整を取りつつも、トレンドを取り入れた訴求力のあるテーマ選定とし実施する。また、見学会とのコラボなど、他事業との協業も検討し双方の事業活性化を図りたい。
		オンライン開催2回、 リアル開催3回	690名	

ねらい

同じ分野の研究・開発に携わっている技術者・研究者の研鑽と相互交流。

実施内容 開催日・方法・テーマ：

- ・**第1回 7月12日(金)** 刈谷市総合文化センター
講師 4 名、参加者募集28名、「**カーボンニュートラルに向けた燃焼技術**」
- ・**第2回 1月31日 (金)** 刈谷市周辺（会場集合型）
講師4名、参加者募集28名、「**未定：例) モビリティの軽量化**」
- ・事前Webアンケートを実施、本会への期待と質問事項を募る。
- ・講師による講演、全員による全体討議（上記事前Webアンケートの期待と質問が話題の中心）、講師をリーダーとしたグループ討議の3部構成

(4) 体験型講習会

目的

自技会活動の利用価値の理解度向上を目的として、「体験型講習会」を開催し、会員サービスの充実を図る。

狙い

実際に**日常では体験できない車の挙動を体験**していただき、**安全運転の再認識と運転技術の向上**を図っていただく。

- ・約半数の方が同僚上司の勧めで参加されているため、自ら参加したくなる、より魅力ある企画を目指す。
⇒ 体験内容更新のため、会場を変更する。
- ・2023年度に引き続き、費用の削減も考慮していく。

計画内容（検討中）

- ・日時：2024年11月7日(木) 10:30～16:30
- ・場所：トヨタ交通安全センター モビリタ（富士スピードウェイ内）
- ・定員：24名
- ・参加費：入会サポート/キャンペーン対象者は半額
- ・内容：○死角体験、○運転姿勢、◎高速フルブレーキング、
◎低ミュー路ブレーキング&旋回、◎飲酒運転疑似体験（◎は新メニュー）



2023年度実施状況
(キョウセイ交通大学)

狙い

- ・自動車関連技術の最新情報を、多くの技術者に提供し、自動車技術の将来の展開への期待を醸成するとともに、会員以外の方には、自動車技術へ関心を広げ、自動車技術会の新規会員獲得に繋がる事を期待する。

内容

- ・日時：2024年6月6日(木) 16:10 – 17:30
- ・場所：ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋 (実地開催のみ)
- ・募集：150名前後
- ・講師：名古屋工業大学 大学院工学研究科 教授/稲盛科学研究機構フェロー
田中 由浩 様
- ・テーマ：『**触知覚原理に基づくデザインとその価値：触感設計と感覚運動支援**』

- ・概要：触覚は身体と対象との力学的相互作用に基づく感覚であり、対象だけでなく身体にも依存します。本講演では、触覚の発展性を考察しながら、この特徴を活かした従来と異なる触感デザインや、触覚の情報化による能力拡張や新しい人と機械の関係を紹介します。

※講演会中に、従来と異なる触覚デザインや、触覚の情報化による能力拡張を体験できる展示を企画。



公益社団法人自動車技術会HPより

(6) 技術者懇談会

概要

目的・テーマ：他社との交流による人脈作り、技術者に求められる資質能力向上の気づきを得る。

(女性は技術者に加えモビリティ企業に従事する従業員が対象)

運営：24年度は年3回（中堅、若手、女性）を実地で開催。懇親会を含めた密な交流で、仲間作りにつなげる。若手技術者懇談会は、人テク展NAGOYAの見学を含めた**初の試み**で開催。

実施計画

	開催日	討議テーマ（案）	募集定員
若手技術者懇談会	2024年7月19日 (AichiSkyExpo)	その先のテクノロジーに触れ、 仲間と共有し、明日からの仕事に活かそう！	20名 * 若手（25～29歳位） <5/7より募集中>
中堅技術者懇談会	2024年10月11日 (ウインクあいち)	エンジニアのジレンマ ～技術者自身の葛藤・経験を 相互に共有し、今後に活かす～	20名 * 中堅（35歳前後）
女性懇談会	2025年2月7日 (実地開催 *1)	私の働き方	20名

* 1：名古屋駅周辺を予定。突発時でのハイブリッド開催も予定。

◆入会サポートで新規に入会する場合、参加費無料対応（全懇談会を対象）

概要

目的：会員の幅広い知識、見識の一助となる情報を提供する。

発刊予定：95号 2024年9月25日， 96号 2025年1月31日

運営：会員が興味を持てるような特集記事を構成し、読みやすく、わかりやすい表現になるよう心がける。

電子化に伴う記事構成の変更や写真枚数・動画や文字サイズの調整、広告に関するページネーションの見直しなどを進め、一層のサービスの向上につながることを目指す。

実施内容

95号について

特集テーマ：変化を進化につなげる(仮)

記事構成：特集(5件)、シリーズ中部(1件)、自動車の豆知識(2件)、モータースポーツ(1件)、いっぽくしよまい(6件程度)、支部事業報告を予定

96号について

編集活動：4月に活動を開始。特集テーマ・取材記事検討に着手。

(8) 学生自動車研究会

2024年度活動狙い

- ・学生会員の自動車技術への関心を深め、会員相互の親睦をはかってもらうことを目的として活動を行う。
- ・2023年度に引き続き、安全を強く意識してイベントを計画・実施する。

2024年度中部支部学生自動車研究会行事予定

行事	頻度	狙い
学生委員会	5回 (4月、7月、10月、12月、2月)	イベント計画、イベント準備の進捗確認、イベント報告、など
参与会	2回 (4月、10月)	イベント計画確認、イベント報告
安全ミーティング	5回 (4月、7月、10月、12月、2月)	安全意識向上
安全講習会	1回 (5月)	安全のための知識の習得
中部支部試走会	3回 (7月、8月、10月)	フォーミュラ車両の走行テスト、翌年の車両開発のためのデータ取得
カート走行会	1回 (2月)	運転技術向上、レースオフィシャルの練習、大学間の交流
交流会	2回 (7月、10月)	学生フォーミュラのチーム運営、静的競技などを題材に議論し、大学間の交流を図る
ものづくりセミナー	1回 (5月)	ものづくりにおける、重要なポイント、楽しさ、難しさを、新入生に体験してもらう
テクニカルセミナー	1回 (12月)	エンジンに関する知識・技術の向上
レーステスト見学会	1回 (3月)	レースチームメンバーとしての動きや、最新のレースにおける技術を学ぶ
学術講演会	1回 (3月)	専門家による自動車に関する講演

(9) 社会貢献

概要

ねらい： モノづくりや創意工夫の楽しさを体験できる学習イベントの開催を通じて、未来の「エンジニア」を育む

開催数： 9回、中部地区7県で開催予定

開催内容： ①ウインドカー組立・改良:**W**、②小型エンジン分解組立:**E**、③ロボットカープログラミング:**R**、
④学生フォーミュラカー展示:**F** の4種類の教室から開催館と調整/選択して開催

2024年取組み事項： 老朽化備品更新(ポスター、ロボットカーなど)、運営マニュアル整備、委員負担軽減

実施計画

回	開催予定日	開催場所	開催内容
第1回	4月21日	岐阜県先端科学技術体験センター	岐阜県瑞浪市 W、E、F
第2回	5月18日	こまつの杜 1	石川県小松市 W
第3回	6月9日	こまつの杜 2	石川県小松市 W
第4回	7月7日	四日市公害と環境未来館	三重県四日市市 W、E
第5回	9月29日	みえ こどもの城	三重県松阪市 E、R
第6回	10月20日	福井県児童科学館	福井県坂井市 W、E
第7回	11月10日	富山市科学博物館	富山県富山市 E、R、F
第8回	1月19日	焼津天文科学館	静岡県焼津市 E
第9回	2月16日	豊橋市視聴覚教育センター	愛知県豊橋市 W、R、F



狙い

自動車業界にとらわれず・視野を広げて、中部地域で活動している新技術領域の従事者の方々に「人とくるまのテクノロジー展」に参加していただき、新たな技術領域の技術情報発信を行うとともに、既存会員企業の皆様との交流で展示会を盛り上げることで、業界の活性化につなげていく。

また、新技術領域の従事者の方々に支部活動の有益性を認識して貰うことにより、会員サービス向上と新技術領域の従事者を含めた賛助会員および個人会員の増加をねらいとする。

実施事項

- ・「人とくるまのテクノロジー展 NAGOYA」での中部支部リアルブース出展
- ・「人とくるまのテクノロジー展 NAGOYA」での中部支部エリア（新規）の開催
- ・協力企業との共同活動成果を中部支部HP等に掲載
- ・“中部支部ポスター”および“活動紹介動画”により認知・告知活動を展開

施策概要

- ・中部支部エリアに出展される企業・団体の方々に満足いただけるよう展示支援を行う。
- ・自動車技術会および「人とくるまのテクノロジー展」の認知度を向上するため、行政（産業振興課）や商工会議所などの団体とコンタクトし、「人とくるまのテクノロジー展 NAGOYA」に来場していただき中部支部エリアを見てもらうことにより、来年以降の出展へつなげられるよう広報活動を行う。

■ 狙い

技術者研鑽および若手人材育成のため、講演会と研究発表会を開催する。

■ 計画

- ・多くの方にご参加いただくため「**人とくるまのテクノロジー展2024 NAGOYA**」と連携を図る。
- ・会場は愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）

開催日	開催内容	内容
7月17日（開催1日目）	講演会	・本部や中部支部の企画を視野に入れ、中部支部独自の視点で、テーマ・講師を選定。 ・午前・午後、各1件、企業と大学から講師を招聘。
7月18日（開催2日目）	研究発表会	・発表件数：26件（内 学生7件） ・発表経験の浅い人に対しレクチャー支援(希望者12名) （協力：豊田中央研究所）

背景・狙い

コロナ禍で各イベントへの参加率が低下、会員への情報発信が紙面から**電子化（メルマガ）**へといった背景の中、参加者数が伸び悩んでおり、改善に向け、広報活動の見直しを行う。

複数の担当幹事から、“**イベントが認識されていない**”との声。

推定原因：会員向けメルマガが読まれていない（紙面による「支部ニュース」は認知度が高かった）。

仮説：メール件名のメッセージ性が弱い。

計画/実施内容

メルマガ改善：効果的な情報発信

- イベント配信と定期配信とを層別
- イベント配信： ①**件名でインパクト** ②**本文で好奇心煽動** ③ **Home Pageで参加意欲**
- 定期配信 x月号：①件名に代表行事を記載 ②本文Top Viewに数ヶ月先まで**情報を先出し**

2024年度の取り組み

- 実施例を多く作り、効果を検証する
- 効果ある例を、定形化
- 2022・2023年度 総務担当幹事経験者が1年間、広報改善にあたる

議案6. 2024年度 支部予算 1/4

- ・ 公益法人に求められる財務3 要件である、① 収支相償、② 公益目的事業比率50%以上、③ 遊休財産額の保有制限に対する率100%以内を満たすと共に、事業計画達成に向けたメリハリのある配分を実現した予算を策定。

単位：円(除消費税)

科 目	2023年度 実績(b)	2024年度 予算(c)	差額 (c)-(b)
当期収入合計(A) 交付金+事業収入	21,158,964	21,108,000	▲ 50,964
前期繰越収支差額	6,567,065	8,498,934	1,931,869
収入合計(B)	27,726,029	29,606,934	1,880,905
事業費	19,227,095	21,008,000	1,780,905
当期支出合計(C)	19,227,095	21,008,000	1,780,905
当期収支差額 (A)-(C)	1,931,869	100,000	▲ 1,831,869
次期繰越収支差額 (B)-(C)	8,498,934	8,598,934	100,000

議案6. 2024年度 支部予算 2/4



■収入

科目	行番号	2023年度		2024年度	増減	備考 (差額の主な要因など)
		予算(a)	決算(b)	予算(c)	差額(c)-(b)	
収入						
1. 交付金収入	1	11,666,000	11,666,000	11,590,000	▲ 76,000	
(1)本部交付金	2	10,566,000	10,566,000	10,390,000	▲ 176,000	
(2)特別交付金(フォーミュラ試走会)	3	1,000,000	100,000	300,000	200,000	試走会3日間
(3)特別交付金(社会貢献キッズ)	4	100,000	1,000,000	900,000	▲ 100,000	キッズ9日間
2. 事業収入	5	10,142,000	9,492,716	9,518,000	25,284	
(1)支部通常総会	6	650,000	629,093	650,000	20,907	
(2)技術講習会・交流会	7	1,662,000	1,656,358	1,848,000	191,642	
a)第1・4回技術講習会	8	720,000	749,999	720,000	▲ 29,999	
b)第2・5回技術講習会	9	500,000	241,817	500,000	258,183	
c)第3回技術講習会	10	300,000	299,999	300,000	1	
d)技術交流会	11	142,000	364,543	328,000	▲ 36,543	
(3)技術者懇談会	12	210,000	178,183	210,000	31,817	
(4)体験型講習会	13	600,000	300,000	350,000	50,000	
(5)見学会	14	1,040,000	675,445	390,000	▲ 285,445	
(6)研究発表会	15	0	0	0	0	
(7)支部報刊行	16	5,630,000	5,750,000	5,620,000	▲ 130,000	
(8)学自研	17	150,000	130,908	150,000	19,092	
(9)中部学生フォーミュラ	18	200,000	172,729	300,000	127,271	
3. 雑収入	19	0	248	0	▲ 248	
当期収入合計(A) (1~3の合計)	20	21,808,000	21,158,964	21,108,000	▲ 50,964	
4. 前期繰越収支差額	21	6,567,065	6,567,065	8,498,934	1,931,869	
収入合計(B)	22	28,375,065	27,726,029	29,606,934	1,880,905	

【算出方法】
募集目安人数×正会員費×1.1(非会員費上乘せ分)

■支出

科目	行番号	2023年度		2024年度	増減	備考 (差額の主な要因など)
		予算(a)	決算(b)	予算(c)	差額(c)-(b)	
支出						
1. 事業費	23	20,762,000	19,227,095	21,008,000	1,757,498	
(1)支部通常総会	24	1,960,000	1,629,915	1,641,000	11,085	
(2)講習会・交流会	25	2,535,000	2,134,841	2,355,000	220,159	
a)第1・4回技術講習会	26	681,000	533,528	583,000	49,472	
b)第2・5回技術講習会	27	1,043,000	715,618	783,000	67,382	
c)第3回技術講習会	28	503,000	520,850	545,000	24,150	
d)技術交流会	29	308,000	364,845	444,000	79,155	
(3)技術者懇談会	30	515,000	416,281	916,000	499,719	会場費、軽飲食費増
(4)体験型講習会	31	1,288,000	1,088,529	1,276,000	187,471	
(5)見学会	32	1,299,000	1,374,737	1,761,000	386,263	バス費用増
(6)研究発表会	33	111,000	57,593	81,000	23,407	
(7)支部報刊行	34	5,783,000	4,913,090	5,350,000	436,910	外注費増
(8)社会貢献活動	35	1,140,000	1,675,485	2,157,000	481,515	備品メンテナンス費増
(9)学自研	36	430,000	526,398	460,000	▲ 66,398	
(10)中部学生フォーミュラ	37	1,925,000	1,663,578	770,000	▲ 893,578	合同試走会費用計上なし
(11)刊行物出版	38	544,000	0	0	0	
(12)会員関連	39	1,240,000	557,758	1,750,000	1,192,242	人テク展名古屋出展費用増
(13)役員会	40	840,000	915,855	1,288,000	372,145	
a)夏季役員会	41	200,000	100,600	630,000	529,400	会場費、軽飲食費増
b)新年役員会	42	630,000	784,688	630,000	▲ 154,688	
c)春季役員会・秋季役員会	43	10,000	1,909	0	▲ 1,909	
d)担当幹事会	44	0	28,658	28,000	▲ 658	
(14)共通	45	1,152,000	2,273,035	1,203,000	▲ 1,070,035	印刷費、通信費減
当期支出合計(C)	46	20,762,000	19,227,095	21,008,000	1,780,905	
当期収支差額(A)-(C)	47	1,046,000	1,931,869	100,000	▲ 1,831,869	
次期繰越収支差額(B)-(C)	48	7,613,065	8,498,934	8,598,934	100,000	【繰越金合計】

別紙8 (P78) を参照

< 収支改善 主な事業 >

- ① 学生フォーミュラ → 合同試走会費用計上なし（本大会会場変更に伴い、支部試走会のみ実施）
- ② 共通-事務局運営費 → 印刷費、通信費減（印刷単価の値下げ、通信機器の契約内容見直し）

< 収支悪化 主な事業 >

- ① 新技術領域の取組 → 人テク展名古屋出展費用増（23年度 未消化予算から補填）
- ② 社会貢献 → 備品メンテナンス費用増（数年に1回）
- ③ 夏季合同役員会 → 会場費、軽飲食費増（コロナ終息後、初のリアル開催を予定）
- ④ 技術者懇談会 → 会場費、軽飲食費増（23年度見送られた若手技術者懇談会の開催）
- ⑤ 見学会 → バス費用増（北陸地区バス費用増）

< 繰越金額の推移 >

23年度末 24年度末

- ・ 繰越金は、8,498,934円 → 8,598,934円 に増加（10万増） 

◆公益法人に求められる財務三要件の達成状況

三要件、全て達成

要件	内容	24年度予算
①公益事業比率	公益目的事業にかかる費用の全費用に占める割合が50%以上であること	70%
②収支相償	公益目的事業に係る収入が、その実施に要する適正な費用を償う額を超えないこと	条件を満たす 8,718,000 < 14,666,000 (単位：円)
③遊休財産額保有制限	遊休財産の額が公益目的事業にかかる費用を超えないこと (100%以下)	58%



公益社団法人 自動車技術会中部支部

- 開会の辞
- 支部長挨拶
- 新支部長挨拶
- 来賓挨拶
- 議長選出
- 議案
- **支部事業活動 功労者・功労団体の表彰**
- フェロー称号の授与
- 閉会の辞

■ 功労のあった個人

氏名	支部役員歴
早藤 英俊 (名城大学)	常任幹事 1998～2009 2012～2013年度 幹事 2010～2011 2014～2023年度 (中部支部役員歴 26年、2008年FIP-受賞)

早藤英俊氏は、1998～2023年度の26年間にわたり中部支部役員に就任され、支部事業の運営に多大な貢献をされた。この間、技術交流会、社会貢献、支部報編集、学生自動車研究会を担当された。

特に学生自動車研究会では担当幹事として、「学生と社会人技術者との懇談会」や「四輪駆動試乗会」などの企画・運営にご尽力いただき、支部事業の活性化に多大な貢献をされた。

■ 功労のあった団体

1年間で会員数（人数または比率）を著しく増強した団体、
または、過去3年間で会員数（人数または比率）を著しく増強した団体

団体	実績
静岡大学	1年間の増員 +45%, +20名 3年間の増員 連続で15%以上(317, 76, 45%)
三菱自動車エンジニアリング(株)	1年間の増員 +6%, +17名
金沢大学	1年間の増員 +92%, +12名
名古屋工業大学	1年間の増員 +37%, +11名

- 開会の辞
- 支部長挨拶
- 新支部長挨拶
- 来賓挨拶
- 議長選出
- 議案
- 支部事業活動 功労者・功労団体の表彰
- **フェロー称号の授与**
- 閉会の辞

(五十音順、敬称略)

認定者	団体
うんの としお 海野 敏夫	ヤマハ発動機株式会社
きもと まさみ 木本 正巳	株式会社ジェイテクト
くぼた ちくお 久保田 知久雄	株式会社ダッド
こんどう こういち 近藤 功一	株式会社アドヴィックス
しみず あきお 志水 彰夫	三菱自動車エンジニアリング株式会社
すずき まさみち 鈴木 正倫	スズキ株式会社
なわた かつみ 縄田 雄美	トヨタ自動車株式会社



公益社団法人 自動車技術会中部支部

[別紙 1] 2023年度 支部別会員数

区分(支部)		'23.3.1 現在	'24.3.1 現在	前年度末比増減	占有率(%)
名誉 会 員	北海道	1	0	▲ 1	0.0
	東 北	0	0	0	0.0
	関 東	32	29	▲ 3	64.4
	中 部	9	10	1	22.2
	関 西	4	4	0	8.9
	九 州	2	2	0	4.4
	海 外	0	0	0	0.0
	小 計	48	45	▲ 3	100.0
正 会 員	北海道	178	198	20	0.5
	東 北	323	335	12	0.8
	関 東	16,974	16,954	▲ 20	38.8
	中 部	20,686	19,806	▲ 880	45.3
	関 西	5,596	5,527	▲ 69	12.6
	九 州	724	726	2	1.7
	海 外	172	165	▲ 7	0.4
	小 計	44,653	43,711	▲ 942	100.0
準 会 員	北海道	0	0	0	0.0
	東 北	0	0	0	0.0
	関 東	0	0	0	0.0
	中 部	0	0	0	0.0
	関 西	0	0	0	0.0
	九 州	0	0	0	0.0
	海 外	0	0	0	0.0
	小 計	0	0	0	0.0
学 生 会 員	北海道	83	112	29	4.1
	東 北	162	158	▲ 4	5.7
	関 東	1,101	1,211	110	43.8
	中 部	447	514	67	18.6
	関 西	524	549	25	19.9
	九 州	179	172	▲ 7	6.2
	海 外	32	48	16	1.7
	小 計	2,528	2,764	236	100.0
支 部 会 員	北海道	262	310	48	0.7
	東 北	485	493	8	1.1
	関 東	18,107	18,194	87	39.1
	中 部	21,142	20,330	▲ 812	43.7
	関 西	6,124	6,080	▲ 44	13.1
	九 州	905	900	▲ 5	1.9
	海 外	204	213	9	0.5
総 計	47,229	46,520	▲ 709	100.0	

2023年度 中部支部グループ別会員数推移

		23/3	23/4	23/5	23/6	23/7	23/8	23/9	23/10	23/11	23/12	24/1	24/2	24/3	23/3-24/3 増減
1	トヨタ自動車(株)	4,581	4,439	4,436	4,470	4,465	4,465	4,460	4,469	4,477	4,482	4,461	4,431	4,427	▲ 154
2	スズキ(株)	2,465	2,426	2,441	2,441	2,441	2,432	2,428	2,426	2,422	2,420	2,416	2,408	2,394	▲ 71
3	㈱アイシン	2,238	2,146	2,148	2,146	2,141	2,135	2,132	2,122	2,121	2,109	2,096	2,094	2,081	▲ 157
4	㈱デンソー	2,223	2,153	2,155	2,156	2,150	2,142	2,139	2,141	2,140	2,125	2,110	2,107	2,092	▲ 131
5	トヨタ車体(株)	1,229	1,202	1,205	1,218	1,218	1,215	1,215	1,215	1,212	1,212	1,211	1,210	1,210	▲ 19
6	三菱自動車工業(株)	1,160	1,122	1,124	1,123	1,115	1,111	1,104	1,100	1,097	1,097	1,087	1,084	1,077	▲ 83
7	トヨタ紡織(株)	564	525	527	538	539	539	539	538	539	540	539	540	542	▲ 22
8	トヨタ自動車東日本(株)	550	537	537	536	534	534	534	527	527	523	523	523	523	▲ 27
9	㈱アドヴィックス	478	476	477	475	477	477	477	475	472	472	473	471	485	7
10	㈱豊田自動織機	449	440	447	447	448	448	448	442	442	442	442	443	446	▲ 3
11	ヤマハ発動機(株)	376	352	350	355	356	356	357	359	360	362	361	358	354	▲ 22
12	愛知機械工業(株)	292	265	265	265	264	263	260	259	258	258	255	255	252	▲ 40
13	ジヤトコ(株)	266	262	139	141	111	112	112	113	116	118	118	122	122	▲ 144
14	㈱ジェイテクト	262	254	254	251	251	249	249	248	248	246	245	245	243	▲ 19
15	三菱自動車エンジニアリング(株)	252	243	249	251	254	265	267	271	271	270	269	270	269	17
16	㈱東海理化	138	124	124	125	125	125	125	125	125	125	124	124	124	▲ 14
17	大同メタル工業(株)	134	133	133	133	133	133	133	133	133	133	133	133	133	▲ 1
18	デンソーテクノ(株)	134	127	127	130	130	130	130	130	129	128	127	127	127	▲ 7
19	日本特殊陶業(株)	131	128	129	129	129	135	135	135	135	135	135	135	135	4
20	アイシン高丘(株)	126	122	122	122	122	121	121	121	121	121	118	116	114	▲ 12
21	㈱豊田中央研究所	126	122	122	122	123	123	123	123	123	123	123	123	124	▲ 2
22	愛三工業(株)	106	99	101	101	101	100	100	94	94	94	94	94	94	▲ 12
23	トヨタテクニカルデバイス・ソリューションズ(株)	95	91	91	92	92	91	91	92	92	92	93	92	92	▲ 3
24	トヨタ名古屋自動車大学校	78	74	74	74	60	60	60	60	60	60	60	60	59	▲ 19
25	大豊工業(株)	66	65	65	65	65	65	65	65	65	65	64	64	64	▲ 2
26	豊田合成(株)	62	58	58	58	57	57	57	57	57	57	57	58	59	▲ 3
27	本田技研工業(株)(鈴鹿)	57	52	51	54	54	54	54	55	57	57	57	57	57	0
28	日井国際産業(株)	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	0
29	矢崎総業(株)	56	51	51	51	51	51	50	50	50	50	49	49	48	▲ 8
30	名古屋大学	46	47	47	47	50	51	51	52	53	52	52	52	52	6
31	静岡大学	44	39	39	38	62	64	64	64	64	64	64	64	64	20
32	名城大学	34	30	30	29	32	33	33	33	34	34	34	34	39	5
33	愛知工業大学	33	19	21	22	24	24	25	25	25	25	25	25	25	▲ 8
34	㈱ダッド	33	30	29	29	29	29	29	29	29	29	29	39	39	6
35	豊橋技術科学大学	30	26	27	20	22	38	38	38	39	39	39	36	35	5
36	名古屋工業大学	29	27	30	39	40	46	46	46	46	46	46	45	40	11
37	富山大学	25	20	20	20	20	26	29	29	29	29	29	29	28	3
38	金沢工業大学	28	20	19	19	23	34	34	34	34	34	34	36	36	8
39	本田技研工業(株)(トランスミッション製造部/船外機工場)	20	19	19	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	▲ 2
40	㈱エッチ・ケー・エス	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	0
41	フタバ産業(株)	16	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14	▲ 2
42	愛知製鋼(株)	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	0

2023年度 中部支部グループ別会員数推移

		23/3	23/4	23/5	23/6	23/7	23/8	23/9	23/10	23/11	23/12	24/1	24/2	24/3	23/3-24/3 増減
43	静岡理工科大学	15	15	15	15	15	22	22	22	22	22	22	22	22	7
44	金沢大学	13	11	11	12	23	25	25	25	25	25	25	25	25	12
45	岐阜大学	10	10	10	9	11	14	14	14	14	14	14	14	14	4
46	㈱FTS	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	▲1
47	住友電装㈱	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	9	9	0
48	㈱トランテックス	9	9	9	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	0
49	㈱ジェイテクトコラムシステム	9	9	9	9	9	11	11	11	11	11	11	11	11	2
50	マルヤス工業㈱	9	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	2
51	豊臣機工㈱	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	▲1
52	愛知工科大学	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	▲1
53	㈱小糸製作所	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	▲1
54	㈱三五	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	▲1
55	中日本自動車短期大学	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	0
56	日本ガイシ㈱	7	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	▲1
57	㈱エフ・シー・シー	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	▲1
58	KYB㈱	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	0
59	THKリズム㈱	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	0
60	ニデックモビリティ㈱	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	0
61	福井大学	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	0
62	ユニプレス㈱	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	0
63	㈱オティックス	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	▲1
64	住友理工㈱	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0
65	高山自動車短期大学	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0
66	中央発條㈱	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	▲1
67	㈱榎屋	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0
68	林テレンプ㈱	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	5	5	1
69	福井工業大学	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	▲1
70	豊田鉄工㈱	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	0
71	愛知トヨタ自動車㈱	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	▲2
72	小島プレス工業㈱	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0
73	ジェイ・バス㈱(金沢)	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1
74	大同大学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0
75	個人	1,827	1,686	1,703	1,743	1,774	1,795	1,798	1,822	1,841	1,850	1,858	1,885	1,893	66
※	大学全体	414	365	370	371	409	463	467	468	471	470	470	468	466	52
	合計	21,142	20,336	20,270	20,381	20,399	20,457	20,440	20,446	20,466	20,445	20,378	20,369	20,330	▲812

[別紙2] 2023年度 中部支部事業計画/実績

黒文字：確定日程

青字：仮日程

赤字：変更点 (2/7)

- ()内は開催会場、[]は担当会社・担当校
- 見学会の見学先は、候補先として折衝中のものもあり。

2024.4.10

事業	総会 顧問会 役員会 【本部事業】	担当幹事会 グループ事務担当者会議	見学会	研究発表会・講演会 技術講習会 体験型講習会 新技術導入への取組	技術交流会 技術者懇談会	社会貢献	学生自動車研究会 学生フォーミュラ	出版
4月			14日(金) No.1 興キヤター 【タクト】	21日(金) 第1回技術講習会 (アクトシティ浜松) 【ヤマハ発動機】		23日(日) 第1回キッズ・モノづくり ワンダーランド (岐阜：サイエンスワールド) 【トヨタ車体】	15日(土) WEB開催 参加会#1・学生委員会#1 安全ミーティング#1 【静岡理科大学】	3日 メルマガ発行、HP更新
5月	12日(金) WEB開催 春季合同役員会 No.5 担当幹事会/常任幹事会 【デンソー】 24日(水)～26日(金) 【本部春季大会】 【人テック展2023横浜】 (パシフィコ横浜) 25日(木) WEB開催 【本部定時総会】 (パシフィコ横浜)		19日(金) No.2 本田技研工業 鈴鹿製作所 【本田技研工業】			28日(日) 第2回キッズ・モノづくり ワンダーランド (愛知：とよた科学体験館) 【東海理化】	20日(土) 中止 支部合同試走会#1 (小笠山総合運動公園)	8日 メルマガ発行、HP更新
6月	19日(月) 通常総会・併催行事 (ANA クラウンパワ 新緑の森)ノト名古屋 【デンソー】	27日(火) WEB開催 No.5 担当幹事会 【デンソー】	23日(金) No.3 スズキ 相良工場 【豊田合成】	19日(月) 総会講演会 (ANA クラウンパワ 新緑の森)ノト名古屋 【トヨタ紡織】		18日(日) 第3回キッズ・モノづくり ワンダーランド (富山：黒部市吉田科学館) 【アイシン】	10日(土) WEB開催 安全講習会#1 【静岡理科大学】 24日(土) WEB開催 安全講習会#2 【静岡理科大学】	1日 メルマガ発行、HP更新
7月	5日(水)～7日(金) 【人テック展2023名古屋】 (Aichi Sky Expo) WEB開催 【人テック展2023名古屋】	18日(火) WEB開催 グループ事務担当者会議 (KKRホテル名古屋) 【デンソー】	21日(金) No.4 デンソー-高欄製作所 【デンソーテクノ】	5日(水) WEB開催 人テック 講演会 (Aichi Sky Expo) 【三菱自動車工業】 6日(木) 研究発表会 (Aichi Sky Expo) 【三菱自動車工業】 WEB配信 7日(金)～31日(月) 第2回技術講習会 【アイシン】	14日(金) 第1回技術交流会 (豊田中央研究所アクトス) 【豊田中央研究所】	22日(土) 第4回キッズ・モノづくり ワンダーランド (石川：のと里山里海ミュージアム) 【スズキ】	1日(土) WEB開催 支部分会セミナー 【豊橋技術科学大学】 8日(土) WEB開催 学生委員会#2 安全ミーティング#2 【静岡理科大学】 15日(土) WEB開催 基礎技術交流会#1 【福井大学】 22日(土)～23日(日) 中止 支部合同試走会#2 (小笠山総合運動公園) 29日(土) WEB開催 安全講習会#3 【静岡理科大学】	3日 メルマガ発行、HP更新
8月	4日(金)～5日(土) 【本部 キッズ・エンジニア名古屋】 (ポートメッセなごや) 25日(金) WEB開催 夏季合同役員会 No.3 理事会 No.6 常任幹事会 講演会 【デンソー】 8月28日(月)～9月2日(土) 学生フォーミュラ日本大会2023 (小笠山総合運動公園)		4日(金) No.5 堀場製作所 びわこ工場 【アイシン高丘】			4日(金)～5日(土) 第5回キッズ・モノづくり ワンダーランド <キッズ・エンジニア名古屋> (ポートメッセなごや) 【豊田自動織機】 27日(日) 第6回キッズ・モノづくり ワンダーランド (三重：四日市公害と環境未来館) 【アイシン】	7日(月)～10日(木)、12日(土) 支部合同試走会#3 (小笠山総合運動公園) 中部交流会#2 (会場未定) 中止 8月28日(月)～9月2日(土) 学生フォーミュラ日本大会2023 (小笠山総合運動公園)	1日 メルマガ発行、HP更新
9月		12日(火) WEB開催 No.6 担当幹事会 【デンソー】	8日(金) No.6 オクマ 本社工場 【大同メタル工業】	18日(月)～10月8日(日) WEB配信 第3回技術講習会 【トヨタ車体】	29日(金) 中堅技術者懇談会 (刈谷市中央生涯学習センター) 【トヨタ自動車】	16日(土) 第7回キッズ・モノづくり ワンダーランド (三重：みえこもの城) 【豊田中央研究所】	30日(土) 支部合同試走会 (小笠山総合運動公園) 【名古屋工業大学・名城大学】	1日 メルマガ発行、HP更新 27日 中部支部報 街舞No.9 3発行 【スズキ】
10月	11日(水)～13日(金) 【本部秋季大会】 (名古屋国際会議場)		6日(金) No.7 ダイフク 滋賀事業所 【東海理化】	19日(木) 第4回技術講習会 (三島市民文化会館) 【ヤマハ発動機】		8日(日) 第8回キッズ・モノづくり ワンダーランド (福井：エンゼルランドふくい) 【東海理化】 28日(土) 第9回キッズ・モノづくり ワンダーランド (富山：富山市科学博物館) 【トヨタ車体】	7日(土) WEB開催 参加会#2・学生委員会#3 安全ミーティング#3 【静岡理科大学】 14日(土) WEB開催 中部支部交流会+OP 【金沢工業大学】 14日(土) WEB開催 安全講習会#4 【静岡理科大学】 レーステスト見学会#1(スーパード) (会場未定) 中止	2日 メルマガ発行、HP更新
11月	27日(月) WEB開催 秋季合同役員会 No.4 担当幹事会 No.7 常任幹事会 【デンソー】	2日(木) WEB開催 No.7 担当幹事会 【デンソー】	10日(金) No.8 北陸地区限定見学会 午前：名大未来社会創造機構 午後：トヨタ博物館 【TTDC、日井国際産業】 17日(金) No.9 カヤバ 岐阜北工場 【ジャパコ】	8日(水) 体験型講習会 (キョウセイ交通大学) 【トヨタ紡織】 24日(金) (ITSワールドと共催) (ポートメッセなごや) 第5回技術講習会 【アイシン】			19日(日) 中部交流会#1 テックカレッジ(エンコン講習会) 【静岡理科大学】 【静岡理科大学】	1日 メルマガ発行、HP更新
12月			8日(金) No.10 量夢 若手技術者入会キャンペーン限定見学会 【日本特殊陶業】		1日(金) 中止 若手技術者懇談会 (場所未定) 【トヨタ自動車】		9日(土) WEB開催 学生委員会#4 安全ミーティング#4 【静岡理科大学】 16日(土) WEB開催 安全講習会#5 【静岡理科大学】	1日 メルマガ発行、HP更新
1月	19日(金) 新年合同役員会 No.4 理事会 No.8 常任幹事会 新年祝賀パーティー (名古屋観光ホテル) 【デンソー】		12日(金) No.11 SUBARU宇宙航空カンパニー 半田工場 【トヨタ自動車東日本】		26日(金) 第2回技術交流会 (刈谷市中央生涯学習センター) 【豊田中央研究所】	14日(日) 第10回キッズ・モノづくり ワンダーランド (静岡：焼津天文科学館) 【ヤマハ発動機】		9日 メルマガ発行、HP更新
2月		6日(火) WEB開催 No.8 担当幹事会 【デンソー】	2日(金) No.12 愛知製鋼 知多工場・鍛造工場 【大豊工業】 9日(金) No.13 トヨタ自動車 田原工場 【愛三工業】		16日(金) 女性懇談会 (名古屋駅周辺) 【トヨタ自動車】		10日(土) WEB開催 学生委員会#5 安全ミーティング#5 【静岡理科大学】 20日(火) カート走行会 (ISK浜名湖店) 【静岡大学】 21日(水) レーステスト見学会#2(スーパード) (鈴鹿サーキット) 【静岡理科大学】	1日 メルマガ発行、HP更新 中部支部報 街舞No.9 4発行 【愛知機械】
3月							4日(月) 学術研究講演会 (名古屋大学) 【静岡理科大学】 8日(金) 工場見学 (ホンダ技研 浜松) 【静岡理科大学】 9日(土) スーパーレース見学会(本職) (鈴鹿サーキット) 【静岡理科大学】 レーステスト見学会#3(スーパード) (会場未定) 中止	1日 メルマガ発行、HP更新

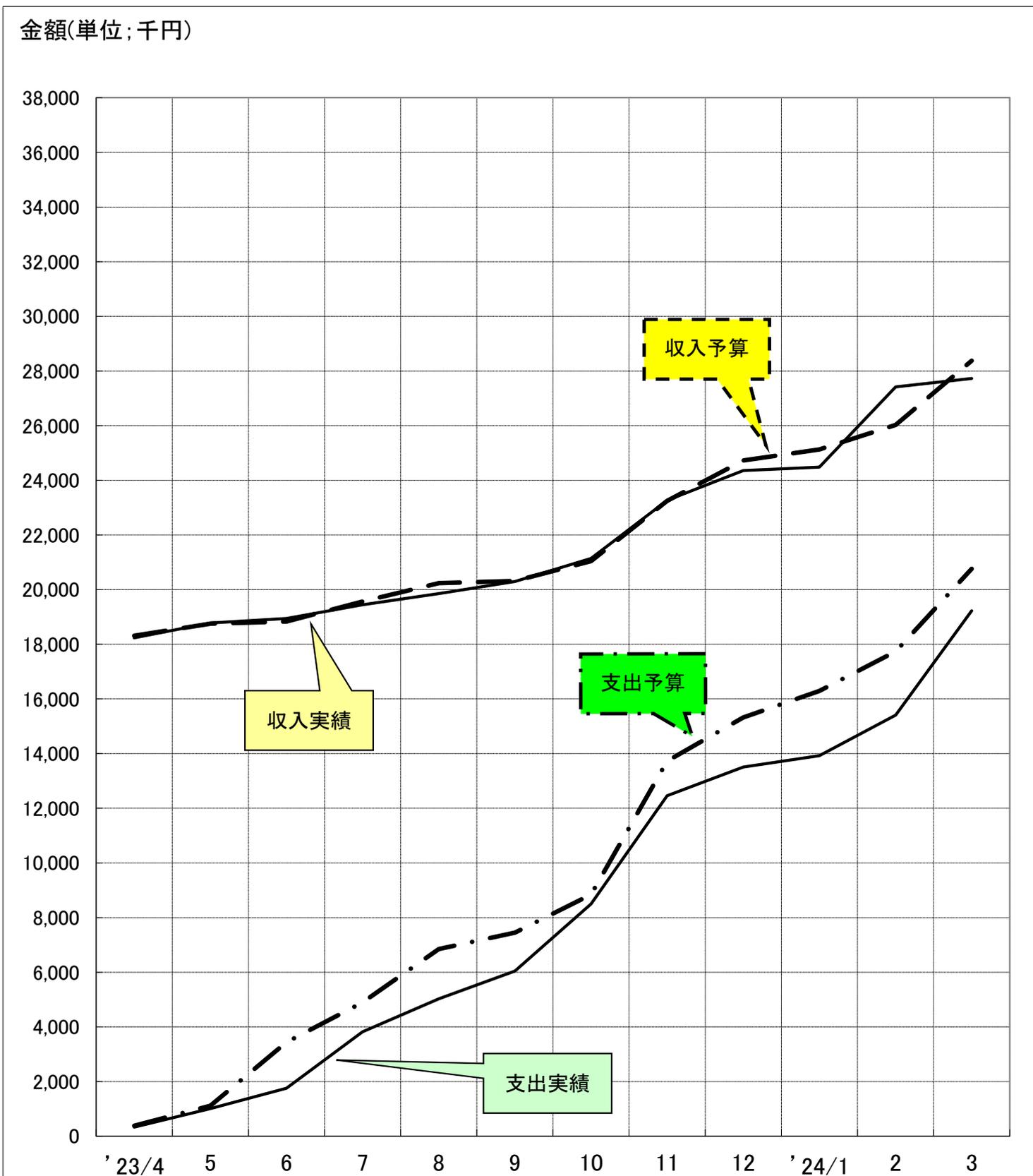
[別紙3] 2023年度 支部会計決算報告

1. 科目別収支計算書(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位:円 消費税を除く)

科目	行番号	2023年度	2024年3月 累計			備考 (差額の主な要因)	
		予算	予算(a)	実績(b)	差額(b-a)		
収入	1. 交付金	1	11,666,000	11,666,000	11,666,000		
	(1)本部交付金	2	10,566,000	10,566,000	10,566,000	0	
	(2)特別交付金	3	1,100,000	1,100,000	1,100,000	0	社会貢献:100万円、学生フォーミュラ:10万円
	2. 事業収入	4	10,142,000	10,142,000	9,492,716	▲ 649,284	
	(1)支部通常総会	5	650,000	650,000	629,093	▲ 20,907	
	(2)講習会・交流会	6	1,662,000	1,662,000	1,656,358	▲ 5,642	
	a)第1・4回技術講習会	7	720,000	720,000	749,999	29,999	
	b)第2・5回技術講習会	8	500,000	500,000	241,817	▲ 258,183	参加者数減
	c)第3回技術講習会	9	300,000	300,000	299,999	▲ 1	
	d)技術交流会	10	142,000	142,000	364,543	222,543	第2回オンラインからリアル開催に変更による、参加費増
	(3)技術者懇談会	11	210,000	210,000	178,183	▲ 31,817	
	(4)体験型講習会	12	600,000	600,000	300,000	▲ 300,000	募集定員減
	(5)見学会	13	1,040,000	1,040,000	675,445	▲ 364,555	参加者数減
	(6)研究発表会	14	0	0	0	0	
	(7)支部報刊行	15	5,630,000	5,630,000	5,750,000	120,000	
	(8)学生関連	16	350,000	350,000	303,637	▲ 46,363	
	a)学自研	17	150,000	150,000	130,908	▲ 19,092	
	b)中部学生フォーミュラ	18	200,000	200,000	172,729	▲ 27,271	
	3. 雑収入	19	0	0	248	248	
	当期収入合計(A) 1~3の合計	20	21,808,000	21,808,000	21,158,964	▲ 649,036	
	4. 前期繰越収支差額	21	6,567,065	6,567,065	6,567,065	0	
	収入合計(B)	22	28,375,065	28,375,065	27,726,029	▲ 649,036	
支出	1. 事業費	23	20,762,000	20,762,000	19,227,095	▲ 1,534,905	
	(1)支部通常総会	24	1,960,000	1,960,000	1,629,915	▲ 330,085	会場費、軽飲食費減
	(2)講習会・交流会	25	2,535,000	2,535,000	2,134,841	▲ 400,159	
	a)第1・4回技術講習会	26	681,000	681,000	533,528	▲ 147,472	講師謝礼金辞退等
	b)第2・5回技術講習会	27	1,043,000	1,043,000	715,618	▲ 327,382	第5回オンラインからリアル開催に変更により、撮影費減
	c)第3回技術講習会	28	503,000	503,000	520,850	17,850	
	d)技術交流会	29	308,000	308,000	364,845	56,845	
	(3)技術者懇談会	30	515,000	515,000	416,281	▲ 98,719	
	(4)体験型講習会	31	1,288,000	1,288,000	1,088,529	▲ 199,471	レンタカー台数半減
	(5)見学会	32	1,299,000	1,299,000	1,374,737	75,737	
	(6)研究発表会	34	111,000	111,000	57,593	▲ 53,407	
	(7)支部報刊行	33	5,783,000	5,783,000	4,913,090	▲ 869,910	校正回数減による外注費削減
	(8)社会貢献活動	35	1,140,000	1,140,000	1,675,485	535,485	学生アルバイト費用、備品運搬費増
	(9)学生関連	36	2,355,000	2,355,000	2,189,976	▲ 165,024	
	a)学自研	37	430,000	430,000	526,398	96,398	
	b)中部学生フォーミュラ	38	1,925,000	1,925,000	1,663,578	▲ 261,422	合同試走会外注費減
	(10)刊行物出版	39	544,000	544,000	0	▲ 544,000	本部契約の外注先に一本化
	(11)会員関連	40	1,240,000	1,240,000	557,758	▲ 682,242	人テク展名古屋出展見送り
	(12)役員会	41	840,000	840,000	915,855	75,855	
	a)夏季役員会	42	200,000	200,000	100,600	▲ 99,400	
	b)新年役員会	43	630,000	630,000	784,688	154,688	会場費、軽飲食費増
	c)春季役員会・秋季役員会	44	10,000	10,000	1,909	▲ 8,091	
d)担当幹事会	45	0	0	28,658	28,658		
(13)共通	46	1,152,000	1,152,000	2,273,035	1,121,035	イベント運営備品新規購入等	
当期支出合計(C)	47	20,762,000	20,762,000	19,227,095	▲ 1,534,905		
当期収支差額(A)-(C)	48	1,046,000	1,046,000	1,931,869	885,869		
次期繰越収支差額(B)-(C)	49	7,613,065	7,613,065	8,498,934	885,869		

2. 2023年度 月別収支予算・実績推移表



		'23/4	5	6	7	8	9	10	11	12	'24/1	2	3
単月 (千円)	収入予算	18,313	440	80	730	672	80	730	2,200	1,480	400	900	2,350
	収入実績	18,237	542	166	505	403	445	845	2,126	1,088	123	2,940	306
	支出予算	383	735	2,317	1,464	1,949	600	1,393	4,886	1,598	970	1,444	3,023
	支出実績	332	679	746	2,062	1,209	1,019	2,452	3,956	1,050	415	1,488	3,819
累計 (千円)	収入予算	18,313	18,753	18,833	19,563	20,235	20,315	21,045	23,245	24,725	25,125	26,025	28,375
	収入実績	18,237	18,779	18,945	19,449	19,852	20,297	21,142	23,268	24,356	24,480	27,420	27,726
	支出予算	383	1,118	3,435	4,899	6,848	7,448	8,841	13,727	15,325	16,295	17,739	20,762
	支出実績	332	1,011	1,757	3,819	5,028	6,047	8,500	12,456	13,506	13,920	15,409	19,227

[別紙4] 中部支部理事候補者

支部理事は、支部総会(2024年6月6日)において選任する。(支部規約第17条)

(敬称略)

団体名	新理事	所属・役職	現理事
愛三工業(株)	このはら ひろかず 此原 弘和	執行役員	宮越 博規
(株)アイシン	おおかわ あけみ 大川 明美	理事	縦山 尚久
	やまもと よしひさ 山本 義久	執行役員	留任
	つつい ひろし 筒井 洋	執行幹部	留任
アイシン高丘(株)	ひらかわ りゅういち 平川 竜一	技術開発本部 本部長	留任
愛知機械工業(株)	いぬかい まさひろ 犬飼 政博	取締役 常務執行役員	留任
(株)アドヴィックス	こんどう こういち 近藤 功一	執行役員	留任
白井国際産業(株)	みずの かずてる 水野 賀壽光	役員室 取締役	留任
(株)トヨタコンポ研究	わたなべ ひろやす 渡部 浩康	取締役	留任
(独)産業技術総合研究所	ちの やすまさ 千野 靖正	材料・化学領域研究企画室 企画室長	留任
(株)ジェイテクト	むらた まさひろ 村田 正博	自動車事業本部 領域長	留任
静岡理工科大学	のざき たかし 野崎 孝志	理工学部機械工学科 教授	留任
ジヤトコ(株)	あきやま よしのぶ 秋山 佳信	生産部門 常務執行役員	鈴木 優
スズキ(株)	すみの たく 角野 卓	技術戦略本部 本部長	鈴木 正倫
	いちの かずお 市野 一夫	生産本部 常務役員	留任
	いせ たかし 伊勢 敬	品質保証本部 本部長	留任
(株)SOKEN	ふくい しんじ 福井 伸治	役員室 専務取締役	留任
大同メタル工業(株)	よした ありひろ 吉田 有宏	技術ユニット 取締役 兼 常務執行役員	留任
大豊工業(株)	かのう ともひろ 加納 知広	代表取締役	留任
(株)ダッド	くぼた ちくお 久保田 知久雄	代表取締役会長	留任
(株)デンソー	すぎうら しんや 杉浦 慎也	研究開発センター 執行幹部	近藤 浩
	すぎと かつひこ 杉戸 克彦	エレクトリックコンポーネント事業部 執行幹部、事業部長	竹内 克彦
	こんどう こうじ 近藤 耕治	エレクトロニクス事業部 執行幹部、事業部長	松ヶ谷 和沖
デンソーテクノ(株)	すぎやま ひろし 杉山 宏	役員 取締役	留任
(株)東海理化	ながお たかし 長尾 貴史	技術開発センター 新商品開発統括 統括	水野 善之
豊田合成(株)	いけだ とみえい 池田 富栄	FC・WS事業本部 副事業本部長	留任

[別紙4] 中部支部理事候補者

支部理事は、支部総会(2024年6月6日)において選任する。(支部規約第17条)

(敬称略)

団体名	新理事	所属・役職	現理事
トヨタ自動車(株)	かいだ けいじ 海田 啓司	CN先行開発センター センター長	留任
	かこ ちか 加古 慈	材料技術領域 統括部長	留任
	のりかね そうた 則包 壯大	プロジェクト領域 チーフプロジェクトヘッド	留任
トヨタ自動車東日本(株)	ねがし しょうじ 根岸 昭二	取締役	永田 雅久
	とみざわ ひろり 富澤 浩紀	プロジェクトC プロジェクトリーダー	留任
(株)豊田自動織機	くまざわ そうたろう 熊澤 聡太郎	エンジン事業部 経営役員	留任
トヨタ車体(株)	むらせ ゆきなり 村瀬 幸成	領域長	留任
	よむら ひとし 吉村 仁	領域長	水澗 英紀
(株)豊田中央研究所	たなべ としたか 田辺 稔貴	エマージングエナジー研究部門 執行職、部門長	小野 英一
トヨタテクニカルディベロップメント(株)	ふなばし よういち 舟橋 陽一	取締役専務執行役員	留任
トヨタ紡織(株)	とらお まきのり 虎尾 正徳	技術開発本部 本部長	留任
	かとう まみ 加藤 麻美	技術管理領域 領域長	角田 浩樹
豊橋技術科学大学	よこやま ひろし 横山 博史	機械工学系 教授	内山 直樹
(株)トランテックス	ふかざわ たかし 深沢 孝志	企画部 部長	留任
名古屋大学	あおき ひろふみ 青木 宏文	未来社会創造機構 特任教授	留任
日本特殊陶業(株)	すずき けいじ 鈴木 啓司	役員 上席執行役員	留任
本田技研工業(株)鈴鹿製作所	たかはし ひであき 高橋 秀明	完成車保証部 部長	留任
三重大学	いけら しょうじゅん 池浦 良淳	大学院工学研究科 教授	留任
三菱自動車工業(株)	さわせ かおる 澤瀬 薫	開発 フェロー	留任
	しおざき ひろたか 塩崎 弘隆	第一車両技術開発本部 技師長	留任
三菱自動車エンジニアリング(株)	しみず あきお 志水 彰夫	取締役	留任
名城大学	なかしま こうへい 中島 公平	理工学部 教授	相馬 仁
矢崎総業(株)	やまだ ひろあき 山田 広明	先行技術開発室 室長	新任
ヤマハ発動機(株)	まるやま へいじ 丸山 平二	技術・研究本部 取締役 常務執行役員	留任

[別紙5] 中部支部監査役

次の両氏を推薦する。

氏名	所属・役職	退任者
やまだ しゅん 山田 潤	(株)SOKEN 役員室 監査役	鳥谷尾 哲也
くすのき たかひろ 楠 隆博	元 大豊工業(株)	留任

[備考] 支部監査役は、正会員の中から支部総会で選任する。(支部規約第17条)

[参考] 歴代支部監査役

役職は就任時を示す(敬称略)

1988～89年度	大同メタル工業(株) 取締役会長 飯島 祥男	中部科学技術センター 専務理事 松田 龍夫
1990～91年度	↑	(株)豊田自動織機製作所 専務取締役 磯谷 智生
1992～93年度	↑	↑
1994～95年度	↑	(株)豊田自動織機製作所 常勤顧問 長谷川 準三
1996～97年度	↑	↑
1998～99年度	↑	アスモ(株) 取締役社長 志賀 拓
		↑
2000～01年度	↑	パジェロ製造(株) 取締役会長 伊東 忠彦
		(株)日本自動車部品総合研究所 専務取締役 眞弓 和久
2002～03年度	(株)ダツド 取締役会長 松澤 武文	↑
2004～05年度	↑	↑
2006～07年度	↑	熱田工業(株) 取締役社長 佐々木 哲保
2008～09年度	↑	↑
2010～11年度	↑	(株)日本自動車部品総合研究所 専務取締役 小浜 時男
2012～13年度	大同メタル工業(株) 相談役 技監 坂本 雅昭	↑
2014～15年度	↑	元 名城大学 横森 求
2016～17年度	↑	↑
	(株)デンソー 顧問 徳田 寛	
2018～19年度	↑	↑
	(株)SOKEN 専務取締役 田坂 仁志	
2020～21年度	↑	↑
	(株)SOKEN 専務取締役 鳥谷尾 哲也	
2022～23年度	↑	元 大豊工業(株) 楠 隆博

[別紙6] 2024年度 支部別会員数

区分(支部)	年度末		前年度末比増減	占有率(%)	1Q(24年4月～24年6月)			2Q(24年7月～24年9月)			3Q(24年10月～24年12月)			4Q(25年1月～25年3月)			累計(24年4月～24年5月)		
	24年3月1日	24年5月1日			入会	退会	異動	入会	退会	異動	入会	退会	異動	入会	退会	異動	入会	退会	異動
名誉会員	北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	関東	29	29	0	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中部	10	10	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	関西	4	4	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	九州	2	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	海外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	45	45	0	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
正会員	北海道	198	188	▲ 10	0	5	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	14	
	東北	335	320	▲ 15	1	19	19	1	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	
	関東	16954	16228	▲ 726	38	293	995	7	0	0	0	0	0	0	0	293	995	7	
	中部	19806	19363	▲ 443	46	289	696	2	0	0	0	0	0	0	0	289	696	2	
	関西	5527	5393	▲ 134	13	119	248	0	0	0	0	0	0	0	0	119	248	0	
	九州	726	699	▲ 27	2	11	29	▲ 8	0	0	0	0	0	0	0	11	29	▲ 8	
	海外	165	155	▲ 10	0	3	10	▲ 1	0	0	0	0	0	0	0	3	10	▲ 1	
小計	43711	42346	▲ 1365	100	739	2011	1	0	0	0	0	0	0	0	739	2011	1		
学生会員	北海道	112	77	▲ 35	4	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	
	東北	158	110	▲ 48	6	0	63	▲ 1	0	0	0	0	0	0	0	0	63	▲ 1	
	関東	1211	797	▲ 414	41	5	450	0	0	0	0	0	0	0	5	450	0		
	中部	514	405	▲ 109	21	3	150	0	0	0	0	0	0	0	3	150	0		
	関西	549	394	▲ 155	20	1	161	0	0	0	0	0	0	0	1	161	0		
	九州	172	110	▲ 62	6	1	64	0	0	0	0	0	0	0	1	64	0		
	海外	48	49	▲ 1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
小計	2764	1942	▲ 822	100	10	925	▲ 1	0	0	0	0	0	0	10	925	▲ 1			
支部会員	北海道	310	265	▲ 45	1	5	50	0	0	0	0	0	0	0	5	50	0		
	東北	493	430	▲ 63	1	19	82	0	0	0	0	0	0	0	19	82	0		
	関東	18194	17054	▲ 1140	38	298	1445	7	0	0	0	0	0	0	298	1445	7		
	中部	20330	19778	▲ 552	45	292	846	2	0	0	0	0	0	0	292	846	2		
	関西	6080	5791	▲ 289	13	120	409	0	0	0	0	0	0	0	120	409	0		
	九州	900	811	▲ 89	2	12	93	▲ 8	0	0	0	0	0	0	12	93	▲ 8		
	海外	213	204	▲ 9	0	3	11	▲ 1	0	0	0	0	0	0	3	11	▲ 1		
総計	46520	44333	▲ 2187	100	749	2936	0	0	0	0	0	0	0	749	2936	0			

2024年度 中部支部グループ別会員数推移

区分(グループ)	年度末	現在	増減	1Q(2024年4月～2024年6月)					2Q(2024年7月～2024年9月)					3Q(2024年10月～2024年12月)					4Q(2025年1月～2025年3月)					累計(2024年4月～2024年5月)				
	24/3	24/5	24/3-24/5	入会	退会	転入	転出	累計	入会	退会	転入	転出	累計	入会	退会	転入	転出	累計	入会	退会	転入	転出	累計	入会	退会	転入	転出	累計
1 トヨタ自動車㈱	4,427	4,341	▲ 86	25	115	5	1	▲ 86					0					0					0	25	115	5	1	▲ 86
2 スズキ㈱	2,394	2,384	▲ 10	25	34	0	1	▲ 10					0					0					0	25	34	0	1	▲ 10
3 ㈱デンソー	2,092	2,026	▲ 66	4	67	0	1	▲ 64					0					0					0	4	67	0	1	▲ 64
4 ㈱アイシン	2,081	2,019	▲ 62	7	69	0	0	▲ 62					0					0					0	7	69	0	0	▲ 62
5 トヨタ車体㈱	1,210	1,228	▲ 18	47	29	0	0	▲ 18					0					0					0	47	29	0	0	▲ 18
6 三菱自動車工業㈱	1,077	1,066	▲ 11	18	27	0	2	▲ 11					0					0					0	18	27	0	2	▲ 11
7 トヨタ自動車東日本㈱	523	511	▲ 12	0	12	0	0	▲ 12					0					0					0	0	12	0	0	▲ 12
8 トヨタ紡織㈱	542	509	▲ 33	2	34	0	1	▲ 33					0					0					0	2	34	0	1	▲ 33
9 ㈱アドヴィックス	485	482	▲ 3	3	7	0	0	▲ 4					0					0					0	3	7	0	0	▲ 4
10 ㈱豊田自動織機	446	420	▲ 26	0	21	0	5	▲ 26					0					0					0	0	21	0	5	▲ 26
11 ヤマハ発動機㈱	354	330	▲ 24	1	23	0	2	▲ 24					0					0					0	1	23	0	2	▲ 24
12 三菱自動車エンジニアリング㈱	269	270	▲ 1	10	9	1	1	▲ 1					0					0					0	10	9	1	1	▲ 1
13 愛知機械工業㈱	252	238	▲ 14	2	16	0	0	▲ 14					0					0					0	2	16	0	0	▲ 14
14 ㈱ジェイテクト	243	235	▲ 8	0	8	0	0	▲ 8					0					0					0	0	8	0	0	▲ 8
15 大同メタル工業㈱	133	129	▲ 4	0	4	0	0	▲ 4					0					0					0	0	4	0	0	▲ 4
16 ジヤトコ㈱	122	125	▲ 3	5	2	0	0	▲ 3					0					0					0	5	2	0	0	▲ 3
17 日本特殊陶業㈱	135	124	▲ 11	0	11	0	0	▲ 11					0					0					0	0	11	0	0	▲ 11
18 ㈱豊田中央研究所	124	123	▲ 1	3	4	0	0	▲ 1					0					0					0	3	4	0	0	▲ 1
19 デンソーテクノ㈱	127	120	▲ 7	0	7	0	0	▲ 7					0					0					0	0	7	0	0	▲ 7
20 ㈱東海理化	124	115	▲ 9	5	14	0	0	▲ 9					0					0					0	5	14	0	0	▲ 9
21 アイシン高丘㈱	114	112	▲ 2	0	2	0	0	▲ 2					0					0					0	0	2	0	0	▲ 2
22 愛三工業㈱	94	93	▲ 1	1	2	0	0	▲ 1					0					0					0	1	2	0	0	▲ 1
23 豊田合成㈱	59	92	▲ 33	35	2	0	0	▲ 33					0					0					0	35	2	0	0	▲ 33
24 トヨタケミカルデバイス開発㈱	92	87	▲ 5	0	5	0	0	▲ 5					0					0					0	0	5	0	0	▲ 5
25 静岡大学	64	61	▲ 3	0	3	0	1	▲ 4					0					0					0	0	3	0	1	▲ 4
26 大豊工業㈱	64	60	▲ 4	1	5	0	0	▲ 4					0					0					0	1	5	0	0	▲ 4
27 本田技研工業㈱(鈴鹿)	57	57	0	5	5	0	0	0					0					0					0	5	5	0	0	0
28 日井国際産業㈱	56	56	0	3	3	0	0	0					0					0					0	3	3	0	0	0
29 矢崎総業㈱	48	48	0	9	9	0	0	0					0					0					0	9	9	0	0	0
30 トヨタ名古屋自動車大学校	59	47	▲ 12	18	30	0	3	▲ 15					0					0					0	18	30	0	3	▲ 15
31 名古屋大学	52	45	▲ 7	1	7	0	1	▲ 7					0					0					0	1	7	0	1	▲ 7
32 名古屋工業大学	40	44	▲ 4	12	8	0	0	▲ 4					0					0					0	12	8	0	0	▲ 4
33 ㈱ダット	39	40	▲ 1	1	0	0	0	▲ 1					0					0					0	1	0	0	0	▲ 1
34 名城大学	39	32	▲ 7	0	7	0	0	▲ 7					0					0					0	0	7	0	0	▲ 7
35 富山大学	28	26	▲ 2	0	2	0	0	▲ 2					0					0					0	0	2	0	0	▲ 2
36 豊橋技術科学大学	35	23	▲ 12	0	12	0	0	▲ 12					0					0					0	0	12	0	0	▲ 12
37 金沢工業大学	36	22	▲ 14	0	14	0	1	▲ 15					0					0					0	0	14	0	1	▲ 15
38 金沢大学	25	22	▲ 3	0	3	0	0	▲ 3					0					0					0	0	3	0	0	▲ 3
39 本田技研工業㈱(トランスミッション製造部/船外機工場)	18	16	▲ 2	0	0	0	2	▲ 2					0					0					0	0	0	0	2	▲ 2

2024年度 中部支部グループ別会員数推移

区分(グループ)	年度末	現在	増減	1Q(2024年4月～2024年6月)					2Q(2024年7月～2024年9月)					3Q(2024年10月～2024年12月)					4Q(2025年1月～2025年3月)					累計(2024年4月～2024年5月)				
	24/3	24/5	24/3-24/5	入会	退会	転入	転出	累計	入会	退会	転入	転出	累計	入会	退会	転入	転出	累計	入会	退会	転入	転出	累計	入会	退会	転入	転出	累計
40 愛知工業大学	25	16	▲ 9	0	9	0	0	▲ 9					0					0					0	0	9	0	0	▲ 9
41 静岡理工科大学	22	14	▲ 8	0	8	0	0	▲ 8					0					0					0	0	8	0	0	▲ 8
42 フタバ産業㈱	14	13	▲ 1	0	1	0	0	▲ 1					0					0					0	0	1	0	0	▲ 1
43 愛知製鋼㈱	15	13	▲ 2	0	2	0	0	▲ 2					0					0					0	0	2	0	0	▲ 2
44 岐阜大学	14	13	▲ 1	0	1	0	0	▲ 1					0					0					0	0	1	0	0	▲ 1
45 マルヤス工業㈱	11	11	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
46 ㈱ジェイテクトコラムシステム	11	10	▲ 1	0	1	0	0	▲ 1					0					0					0	0	1	0	0	▲ 1
47 住友電装㈱	9	9	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
48 ㈱トランテックス	9	8	▲ 1	0	1	0	0	▲ 1					0					0					0	0	1	0	0	▲ 1
49 中日本自動車短期大学	7	7	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
50 ㈱小糸製作所	6	6	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
51 ㈱三五	6	6	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
52 福井大学	5	6	▲ 1	2	1	0	0	▲ 1					0					0					0	2	1	0	0	▲ 1
53 ㈱FTS	8	5	▲ 3	0	3	0	0	▲ 3					0					0					0	0	3	0	0	▲ 3
54 KYB㈱	5	5	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
55 THKリズム㈱	5	5	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
56 ニデックモビリティ㈱	5	5	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
57 林テレンブ㈱	5	5	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
58 愛知工科大学	6	5	▲ 1	1	2	0	0	▲ 1					0					0					0	1	2	0	0	▲ 1
59 豊臣機工㈱	7	4	▲ 3	0	3	0	0	▲ 3					0					0					0	0	3	0	0	▲ 3
60 日本ガイシ㈱	6	4	▲ 2	0	2	0	0	▲ 2					0					0					0	0	2	0	0	▲ 2
61 ㈱エフ・シー・シー	4	4	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
62 ユニブレス㈱	5	4	▲ 1	0	1	0	0	▲ 1					0					0					0	0	1	0	0	▲ 1
63 住友理工㈱	4	4	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
64 高山自動車短期大学	4	4	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
65 ㈱榎屋	4	4	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
66 ㈱オティックス	3	3	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
67 中央発條㈱	3	3	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
68 福井工業大学	3	3	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
69 豊田鉄工㈱	3	3	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
70 ジェイ・バス㈱(金沢)	3	3	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
71 小島プレス工業㈱	2	2	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
72 大同大学	2	2	0	0	0	0	0	0					0					0					0	0	0	0	0	0
73 個人	1,910	1,791	▲ 119	46	179	25	7	▲ 115					0					0					0	46	179	25	7	▲ 115
※ 大学全体	466	392	▲ 74	34	107	0	6	▲ 79					0					0					0	34	107	0	6	▲ 79
合計	20,330	19,778	▲ 552	292	846	31	29	▲ 552	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	292	846	31	29	▲ 552

【別紙7】 2024年度 中部支部事業計画

赤太字：確定日程
青太字：仮日程

1. ()内は開催会場、[]は担当会社・担当校
2. 見学会の見学先は、候補先として折衝中のものもあり。

2024.5.29

事業	総会 顧問会 役員会 【本部事業】	担当幹事会 グループ事務担当者会議	見学会	研究発表会・講演会 技術講習会 体験型講習会 新技術領域への取組	技術交流会 技術者懇談会	社会貢献	学生自動車研究会 学生フォーミュラ	出版
4月				19日(金) 第1回技術講習会 (アトシテイ浜松) 【ヤマハ発動機】		21日(日) 第1回キッズ・モノづくり ワンダーランド (岐阜：サイエンスワールド) 【日産オートモーティブテクノロジー】	13日(土) WEB開催 参加会#1・学生委員会#1 安全ミーティング#1 【名城大学】	1日 メルマガ発行、HP更新
5月	13日(月) WEB開催 春季合同役員会 No.1 担当幹事会/常任幹事会 【デンソー・トヨタ車体】 17日(水)～24日(金) 【本部春季大会】 【人テク展2024 横浜】 (パシフィコ横浜) 23日(木) 【本部定時総会】 (パシフィコ横浜)		17日(金) 中止 No.1 ヤマハ発動機 本社工場 【本田技研工業】			18日(土) 第2回キッズ・モノづくり ワンダーランド (石川：こまつの杜) 【スズキ】	25日(土) WEB開催 安全講習会 【富山大学】	7日 メルマガ発行、HP更新
6月	6日(木) 通常総会・併催行事 (ANA トラファブ 3F 新緑)ラコト名古屋) 【デンソー・トヨタ車体】	18日(火) R/A*リポート開催 No.1 担当幹事会 【トヨタ車体】	28日(金) No.2 eve autonomy 【豊田合成】	6日(木) 総会講演会 (ANA トラファブ 3F 新緑)ラコト名古屋) 【スズキ】		9日(日) 第3回キッズ・モノづくり ワンダーランド (石川：こまつの杜) 【スズキ】	22日(土) R/A*リポート開催 ものづくりセミナー 【豊橋技術科学大学】 29日(土) 基礎技術交流会 (刈谷市産業振興センター) 【福井大学】	3日 メルマガ発行、HP更新
7月	17日(水)～19日(金) 【人テク展2024 名古屋】 (Aichi Sky Expo)	5日(金) グループ事務担当者会議 (サイプレスガーデンホテル) 【トヨタ車体】	26日(金) No.3 NTN 岡山製作所 【デンソーテクノ】	17日(水) 人テク展 講演会 (Aichi Sky Expo) 【デンソー】 18日(木) 研究発表会 (Aichi Sky Expo) 【デンソー】 17日(水)～19日(金) 人テク展 中部支部展示 (Aichi Sky Expo) 【アイシン】 オンデマンド配信 29日(月)～8/23(金) 第2回技術講習会 【トヨタ紡織】	12日(金) 第1回技術交流会 (刈谷市中央生涯学習センター) 【豊田中央研究所】 19日(金) 若手技術者懇談会 (Aichi Sky Expo) 【トヨタ自動車】	7日(日) 第4回キッズ・モノづくり ワンダーランド (三重：そらんぼ四日市) 【アイシン】	6日(土) WEB開催 学生委員会#2 安全ミーティング#2 【名城大学】	1日 メルマガ発行、HP更新
8月	2日(金)～3日(土) 【本部 キッズ・エンジニア】 (パシフィコ横浜) 21日(水) 夏季合同役員会 No.1 理事会 No.2 常任幹事会 懇親会 (ANA トラファブ 3F 新緑)ラコト名古屋) 【トヨタ車体】		2日(金) No.4 モリタ 三田工場 【アイシン高丘】 23日(金) No.5 JERA 碧南火力発電所 【ジャッド】				7日(水)、8日(木) 中部支部試走会#1 (小笠山総合運動公園) 【***大学】	1日 メルマガ発行、HP更新
9月	9日(月)～14日(土) 【本部・学生フォーミュラ 日本大会2024】 (Aichi Sky Expo)	3日(火) R/A*リポート開催 No.2 担当幹事会 【トヨタ車体】	6日(金) No.6 航空自衛隊 浜松基地 【大同メタル工業】	18日(水)～10月8日(火) 第3回技術講習会 【ジェイテクト】		29日(日) 第5回キッズ・モノづくり ワンダーランド (三重：みえこどもの城) 【豊田中央研究所】	9日(月)～14日(土) 学生フォーミュラ日本大会2024 (Aichi Sky Expo) 28日(土) 中部支部試走会#2 (小笠山総合運動公園) 【名古屋大学・岐阜大学】	2日 メルマガ発行、HP更新 中部支部報 宙舞No.9 5発行 【アドヴィックス】
10月	23日(水)～25日(金) 【本部秋季大会】 (仙台国際センター)		4日(金) No.7 北川工業 【東海理化】	18日(金) 第4回技術講習会 (三島市民文化会館) 【ヤマハ発動機】	11日(金) 中堅技術者懇談会 (ウイंकあいち) 【トヨタ自動車】	20日(日) 第6回キッズ・モノづくり ワンダーランド (福井：福井県児童科学館) 【三菱自動車工業】	5日(土) WEB開催 参加会#2・学生委員会#3 安全ミーティング#3 【名城大学】 * * 日() WEB開催 中部支部交流会+OP 【金沢工業大学】	1日 メルマガ発行、HP更新
11月	22日(金) WEB開催 秋季合同役員会 No.2 担当幹事会 No.3 常任幹事会 【トヨタ車体】	5日(火) R/A*リポート開催 No.3 担当幹事会 【トヨタ車体】	1日(金) No.8 京都機械工具 (KTCEのびのび技術館) 【トヨタ車体】 * * 日() No.9 SUBARU航空宇宙車カノコセンター 半田工場 【ジャトコ】	7日(木) 体験型講習会 (トヨタ交通安全センターモビリティ) 【スズキ】 * * 日() 第5回技術講習会 (場所未定) 【トヨタ紡織】		10日(日) 第7回キッズ・モノづくり ワンダーランド (富山：富山市科学博物館) 【豊田自動織機】		1日 メルマガ発行、HP更新
12月			13日(金) No.10 トヨタ博物館 【臼井国際産業、TTDC】 20日(金) No.11 海洋研究開発機構 【トヨタ自動車東日本】				7日(土) WEB開催 学生委員会#4 安全ミーティング#4 【名城大学】 * * 日() テクニカルセミナー (エンジン講習会) (静岡理工科大学) 【静岡理工科大学】	2日 メルマガ発行、HP更新
1月	27日(月) 新年合同役員会 No.2 理事会 No.4 常任幹事会 新年祝賀パーティー (ANA トラファブ 3F 新緑)ラコト名古屋) 【トヨタ車体】		* * 日() No.12 大同特殊鋼 星崎工場 【大豊工業】		31日(金) 第2回技術交流会 (刈谷市付近) 【豊田中央研究所】	19日(日) 第8回キッズ・モノづくり ワンダーランド (静岡：焼津天文科学館) 【ヤマハ発動機】		6日 メルマガ発行、HP更新 31日(金) 中部支部報 宙舞No.9 6発行 【三菱自動車工業】
2月		4日(火) R/A*リポート開催 No.4 担当幹事会 【トヨタ車体】	* * 日() No.13 三菱重工航空エンジン 【愛三工業】		7日(金) 女性懇談会 (場所未定) 【トヨタ自動車】	16日(日) 第9回キッズ・モノづくり ワンダーランド (愛知：豊橋市視覚教育センター) 【豊田自動織機】	8日(土) WEB開催 学生委員会#5 安全ミーティング#5 【名城大学】 * * 日() カート走行会 (ISK浜名湖店) 【静岡大学】 * * 日() 学術研究講演会 (場所未定) 【***大学】 * * 日() レーステスト見学会 (場所未定) 【静岡理工科大学】	3日 メルマガ発行、HP更新
3月								3日 メルマガ発行、HP更新

[別紙8] 2024年度 支部予算

科目	行番号	2023年度		2024年度	増減	備考 (差額の主な要因など)	2022年度 実績(参考)
		予算(a)	決算(b)	予算(c)	差額(c)-(b)		
収入							
1. 交付金収入	1	11,666,000	11,666,000	11,590,000	▲ 76,000		11,551,000
(1)本部交付金	2	10,566,000	10,566,000	10,390,000	▲ 176,000		10,551,000
(2)特別交付金(フォーミュラ試走会)	3	1,000,000	100,000	300,000	200,000	試走会3日間	100,000
(3)特別交付金(社会貢献キッズ)	4	100,000	1,000,000	900,000	▲ 100,000	キッズ9日間	900,000
2. 事業収入	5	10,142,000	9,492,716	9,518,000	25,284		8,071,798
(1)支部通常総会	6	650,000	629,093	650,000	20,907		0
(2)技術講習会・交流会	7	1,662,000	1,656,358	1,848,000	191,642		1,223,630
a)第1・4回技術講習会	8	720,000	749,999	720,000	▲ 29,999		305,453
b)第2・5回技術講習会	9	500,000	241,817	500,000	258,183		641,817
c)第3回技術講習会	10	300,000	299,999	300,000	1		238,179
d)技術交流会	11	142,000	364,543	328,000	▲ 36,543		38,181
(3)技術者懇談会	12	210,000	178,183	210,000	31,817		0
(4)体験型講習会	13	600,000	300,000	350,000	50,000		340,908
(5)見学会	14	1,040,000	675,445	390,000	▲ 285,445		488,168
(6)研究発表会	15	0	0	0	0		0
(7)支部報刊行	16	5,630,000	5,750,000	5,620,000	▲ 130,000		5,840,000
(8)学自研	17	150,000	130,908	150,000	19,092		129,092
(9)中部学生フォーミュラ	18	200,000	172,729	300,000	127,271		50,000
3. 雑収入	19	0	248	0	▲ 248		295
当期収入合計(A) (1~3の合計)	20	21,808,000	21,158,964	21,108,000	▲ 50,964		19,623,093
4. 前期繰越収支差額	21	6,567,065	6,567,065	8,498,934	1,931,869		14,815,879
収入合計(B)	22	28,375,065	27,726,029	29,606,934	1,880,905		34,438,972
支出							
1. 事業費	23	20,762,000	19,227,095	21,008,000	1,757,498		27,871,907
(1)支部通常総会	24	1,960,000	1,629,915	1,641,000	11,085		1,057,022
(2)講習会・交流会	25	2,535,000	2,134,841	2,355,000	220,159		2,618,055
a)第1・4回技術講習会	26	681,000	533,528	583,000	49,472		967,646
b)第2・5回技術講習会	27	1,043,000	715,618	783,000	67,382		1,064,469
c)第3回技術講習会	28	503,000	520,850	545,000	24,150		463,640
d)技術交流会	29	308,000	364,845	444,000	79,155		122,300
(3)技術者懇談会	30	515,000	416,281	916,000	499,719	会場費、軽飲食費増	563,372
(4)体験型講習会	31	1,288,000	1,088,529	1,276,000	187,471		1,283,817
(5)見学会	32	1,299,000	1,374,737	1,761,000	386,263	バス費用増	1,016,973
(6)研究発表会	33	111,000	57,593	81,000	23,407		1,294,148
(7)支部報刊行	34	5,783,000	4,913,090	5,350,000	436,910	外注費増	5,121,847
(8)社会貢献活動	35	1,140,000	1,675,485	2,157,000	481,515	備品メンテナンス費増	1,548,542
(9)学自研	36	430,000	526,398	460,000	▲ 66,398		610,993
(10)中部学生フォーミュラ	37	1,925,000	1,663,578	770,000	▲ 893,578	合同試走会費用計上なし	2,465,051
(11)刊行物出版	38	544,000	0	0	0		498,300
(12)会員関連	39	1,240,000	557,758	1,750,000	1,192,242	人テク展名古屋出展費用増	7,957,783
(13)役員会	40	840,000	915,855	1,288,000	372,145		502,105
a)夏季役員会	41	200,000	100,600	630,000	529,400	会場費、軽飲食費増	490,955
b)新年役員会	42	630,000	784,688	630,000	▲ 154,688		11,150
c)春季役員会・秋季役員会	43	10,000	1,909	0	▲ 1,909		0
d)担当幹事会	44	0	28,658	28,000	▲ 658		0
(14)共通	45	1,152,000	2,273,035	1,203,000	▲ 1,070,035	印刷費、通信費減	1,333,899
当期支出合計(C)	46	20,762,000	19,227,095	21,008,000	1,780,905		27,871,907
当期収支差額(A)-(C)	47	1,046,000	1,931,869	100,000	▲ 1,831,869		▲ 8,248,814
次期繰越収支差額(B)-(C)	48	7,613,065	8,498,934	8,598,934	100,000	《繰越金合計》	6,567,065

【算出方法】
募集目安人数×正会員費×1.1(非会員費上乗せ分)



公益社団法人 自動車技術会中部支部